

中野市公の施設に係る指定管理者の令和7年度事業評価結果

指定管理者事業評価 年度評価の基準について

1 評価内容

市と指定管理者との間で締結している協定や仕様書等を遵守して、適正に施設の管理・運営を行っているかについて、下記の項目ごとに評価(判定)し、年度評価を行ってください。

評価区分	評価内容
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか。
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか。
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。。
	④ デジタル化への対応を行ったか。
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。
	④ 労働関係法令を遵守したか。

2 評価区分別の評価基準

(1) 判定基準

評価内容の判定に当たっては、下記評価基準表を参考にしてください。

区 分	評価内容	基準	判定	条件	備考
(1) 市民の視点 (50点)	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	10: 前年度利用者数120%以上 7: 前年度利用者数110～119% 5: 前年度利用者数90～109% 2: 前年度利用者数70～89% 1: 前年度利用者数69%以下	10	大きく増加した	自動判定 前年度利用者数と評価対象年度を比較
			7	増加した(平年並み)	
			5	概ね増減なし	
			2	減少した	
			1	大きく減少した	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	所管課判断 ・3利用者ニーズへの取組みに記載されている意見及び対応状況 ・利用者意見を収集する姿勢が見られるか	10	利用者満足度が大きく向上している	
			7	利用者満足度が向上している	
			5	利用者ニーズへ適切に対応している	
			2	利用者満足度が向上していない	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	所管課判断	1	アンケート等利用者意見収集をしていない	
			10	適切に対応し規定や体制に迅速な改善を行い、大きな成果を得た	
			7	適切に対応し規定や体制に改善を行った/苦情などはなかった	
			5	適切に対応した	
			2	不適切な対応があった	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	所管課判断	1	不適切な対応が複数あった	
			10	市民サービス向上に新たな取組みを実施し、大きな成果を得た	
			7	市民サービス向上に新たな取組みを実施した	
			5	計画通りに実施した/自主事業を行う施設ではない	
			2	計画していたものを実施していない	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	所管課判断	1	自主事業を実施していない	
			10	積極的に情報公開を受けれる状態かつ、最新の体制を整えており、開示があった場合は問題なく対応	
			7	積極的に情報公開を受けれる状態にあり、開示があった場合は問題なく対応した。	
			5	体制を整えている	
			2	体制に改善が必要	
			1	体制が整っていない	

(2) 財務の視点 (25点)	① 計画どおり収入が得られたか。	所管課判断 当該年度の年度計画書等と比較し判断 5:計画比 概ね120%以上 4:計画比 概ね110~119% 3:計画比 概ね90~109% 2:計画比 概ね70~89% 1:計画比 概ね69%以下	5	計画を大きく上回る収入を得られた	
			4	計画を上回る収入を得られた	
			3	計画どおりの収入を得られた	
			2	計画を下回った	
			1	計画を大きく下回った	
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか。	所管課判断	5	取組みにより明確で大きな効果があった	
			4	取組みにより効果があった	
			3	概ね期待通りの取組みがあった	
			2	取組みが消極的であった	
			1	取組みが見られなかった	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか。	所管課判断	5	取組みにより明確で大きな効果があった	
			4	取組みにより効果があった	
			3	概ね期待通りの取組みがあった	
			2	取組みが消極的であった	
			1	取組みが見られなかった	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	所管課判断	5	会計監査人による監査を受けている	自動化不可
			4	適切かつ明確に区分されている	
			3	指定管理又は自主事業の一方のみ	
			2	経理区分が明確でない	
			1	経理区分が著しく明確でない	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	所管課判断	5	適正に管理され、会計監査人による監査を受けている	自動化不可
			4	適正に管理され、瑕疵による破損・紛失等はない	
			3	備品を持っていない	
			2	適正な管理がされていない	
			1	全く適正な管理がされていない	
(3) 業務の視点 (45点)	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	所管課判断	5	法令、水準書等の基準以上の取組みを実施し、大きな効果を得た	自動化不可
			4	法令、水準書等の基準以上の取組みを実施した	
			3	法令、水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	基準に満たなかった	
			1	著しく基準に満たなかった	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の取組みを実施し、大きな効果を得た	自動化不可 研修例:コンプライアンス研修、救命救急講習、AED操作研修等業務に必要な研修。 ※法定研修(防火管理者、食品衛生管理者等)は除く。
			4	水準書等の基準以上の取組みを実施した	
			3	水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	水準書等の要求を満たしていない	
			1	著しく水準書等の要求を満たしていない	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の取組みを実施し、内容の充実も図られていた	自動化不可 毎月の業務報告書は翌月に、年度報告書及び自己評価調書は事業年度終了後、30日以内に提出することとなっています。報告内容も評価対象としてください。
			4	遅滞はなく、内容の充実も図られていた	
			3	遅滞はなかった	
			2	遅滞があった	
			1	遅滞があり、内容も乏しかった	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	所管課判断	5	新しい取組みを実施し効果を得た/高い水準での実施を継続している	自動化不可
			4	積極的に実施している	
			3	実施している	
			2	実施に消極的である	
			1	全く実施していない	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	所管課判断	5	改善指示はなく、運営状況は適切であった	自動化不可 管理運営改善状況等報告書の内容についても改善事項として考慮してください。
			4	改善指示に対し適切かつ発展的に対応した	
			3	改善指示に適切に対応した	
			2	改善指示への対応が不十分だった	
			1	改善指示への対応を怠った	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	所管課判断	5	効果的な訓練実施及びマニュアルの整備に加え、有資格者等の配置など体制の強化に努めた	自動化不可 訓練例:防災訓練、防犯訓練等
			4	効果的な訓練実施及びマニュアルが整備されている	
			3	訓練実施及びマニュアルが整備されている	
			2	訓練実施及びマニュアルの整備が不十分	
			1	訓練実施及びマニュアルの整備がされていない	

	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	所管課判断	5	特筆すべき取組をおこなったことにより事件・事故は発生しなかった	自動化不可
			4	事件・事故は発生しなかった	
			3	事件・事故に適切に対応した(軽微なものを含む)	
			2	重大な事件・事故が発生した	
			1	事件・事故への対応が不十分だった	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	所管課判断	5	法令、水準書等の基準以上の取組を実施し、有資格者等の配置など体制の強化に努めた	自動化不可
			4	法令、水準書等の基準以上の取組を実施した	
			3	法令、水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	体制に不備がある	
			1	体制を整えていない	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	所管課判断	5	積極的に取組を行いサービス向上などの効果を得た	自動化不可
			4	積極的に取組を行いサービス向上などに努めた	
			3	適時取組を行っている	
			2	必要な取組みが不十分	
			1	必要な取組を行っていない	
(4) 人材の視点 (20点)	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	所管課判断	5	規定以上の職員配置に加え、有資格者等の配置など体制を強化している	自動化不可
			4	規定どおりの職員配置に加え、有資格者等の配置など体制を強化している	
			3	規定のとおり配置している	
			2	規定に達していない	
			1	規定に達しておらず、問題が生じた	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の職員配置に加え、有資格者等の配置など体制を強化している	自動化不可
			4	水準書等の基準以上の職員を配置している、基準人数以下だが有資格者の配置などにより効果を得ている	
			3	水準書等の基準のとおり配置している	
			2	水準書等の基準に達していない	
			1	水準書等の基準に達しておらず、問題が生じた	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の取組を実施し、効果を得た	自動化不可 研修例:接客(おもてなし)研修、英会話研修、チラシ・ポップ作成研修など。 ※法定研修は除く。
			4	水準書等の基準以上の取組を実施した	
			3	水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	水準書等の要求を満たしていない	
			1	水準書等の基準に達しておらず、問題が生じた	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	所管課判断	5	基準以上の取組を実施し、効果を得た	自動化不可
			4	基準以上の取組を実施した	
			3	基準に定めたとおり実施した	
			2	基準を満たしていない	
			1	基準を満たしておらず、問題が生じた	

(2) 区分得点について

評価内容の判定結果の得点で決定します。

評価内容	得点
(1) 市民の視点	50点
(2) 財務の視点	25点
(3) 業務の視点	45点
(4) 人材の視点	20点
総合得点(合計)	140点

3 年度評価の基準

総合得点の結果に応じて、次の評価基準に従って年度評価を決定します。

年度評価	評価基準
S (極めて優良)	120点以上
A (優良)	110～119点
B+ (良好)	100～109点
B (要一部改善)	80～99点
B- (要改善)	70～79点
C (不良)	60～69点
D (極めて不良)	59点以下

※年度評価結果、改善指導方針については評価確定後、施設所管課より全指定管理者に周知・指導してください。

改善が必要な施設には速やかにその旨を指導し、改善を促すこととしてください。

中野市公の施設に係る指定管理者の令和7年度事業評価結果一覧

(令和8年3月31日現在)

施設状況			年度評価 結果 (7段階)	前年評価 結果
1	施設名	中野市福祉ふれあいセンター及び中野市さんさん館(計3施設)	B	B
	指定管理者	社会福祉法人中野市社会福祉協議会		
	施設概要	福祉ふれあいセンター(身体障がい者福祉ふれあいセンター、心身障がい者共同作業訓練施設) 福祉ふれあいセンター永田分場(共同作業訓練施設) さんさん館介護予防拠点施設)		
	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な実施事業	福祉ふれあいセンター 条例に定める事業(身体障害者福祉、母子通園、共同作業) さんさん館 施設の管理運営、維持管理及び保守管理		
	担当課	福祉課		
2	施設名	中野市精神障害者社会復帰施設(計2施設)	B	B
	指定管理者	社会福祉法人中野市社会福祉協議会		
	施設概要	中野市りんごの木共同作業所(作業室、展示室、休憩室、食堂、事務室等) 中野市びあワーク就労支援施設(作業室、静養室、会議室、食堂、事務室等)		
	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料(りんごの木)、利用料金制(びあワーク)		
	主な実施事業	条例に定める事業(生活訓練、作業訓練、就労指導)		
3	施設名	中野市子育て支援拠点施設(HUBLIC)	A	B+
	指定管理者	合同会社WIP		
	施設概要	子育て支援センター、子育てサポートエリア、一時預かり室、多目的運動施設、屋外運動場、駐車場、自主事業施設、その他の施設		
	指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な実施事業	管理運営事業、施設の維持管理及び設備等の保守管理、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、子育てサポートエリア管理運営業務及び自主事業に関する業務		
4	施設名	中野市児童センター及び中野市放課後児童クラブ(計11施設)	B	B
	指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社		
	施設概要	中野児童センター放課後児童クラブ、平野児童センター放課後児童クラブ、中野放課後児童クラブ、日野放課後児童クラブ、延徳放課後児童クラブ、平野放課後児童クラブ、高丘放課後児童クラブ、高社放課後児童クラブ、豊田放課後児童クラブ		
	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な実施事業	センター業務(利用許可、施設の維持管理、自主事業含む)、児童クラブ業務(利用許可、施設の維持管理、自主事業含む)		
5	施設名	中野市子育て支援センター(計2施設)	A	B+
	指定管理者	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		
	施設概要	中央子育て支援センター、豊田子育て支援センター(一時預かり室、調理室、和室含む)		
	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な実施事業	地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業(豊田子育て支援センター)		
	担当課	子育て課		

施設状況			年度評価 結果 (7段階)	前年評価 結果
6	施設名	中野市民プール	B	B
	指定管理者	株式会社日本水泳振興会		
	施設概要	管理棟、50m競泳プール、流水プール、幼児プール、スライダー		
	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な 実施事業	プール施設管理運営業務、指定管理者による自主事業(物販などのイベント)		
	担当課	文化スポーツ振興課		
7	施設名	中野市営野球場ほか14施設(計15施設)	B-	B-
	指定管理者	中野市体育協会		
	施設概要	中野市営野球場、中野市営運動場、中野市民体育館、中野市武道館、中野市営テニスコート、中野市弓道場、中野市篠井川河川敷運動広場、中野市コミュニティスポーツセンター、中野市屋内運動場、中野市営豊田テニスコート、中野市営豊田野球場、中野市営豊田マレットゴルフ場、中野市永田社会体育運動場、中野市B&G海洋センター、中野市北公園		
	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な 実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業		
	担当課	文化スポーツ振興課		
8	施設名	中野市多目的サッカー場	A	B
	指定管理者	株式会社穀藤		
	施設概要	サッカーグラウンド、管理棟		
	指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な 実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業(自販機設置等)		
	担当課	文化スポーツ振興課		
9	施設名	中山晋平記念館及び高野辰之記念館	B+	—
	指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社長野営業所		
	施設概要	記念館、休憩所、屋外トイレ、物置		
	指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な 実施事業	資料の収集、保管及び展示、展示資料の観覧許可、自主事業コンサート、記念館まつり等		
	担当課	文化スポーツ振興課		
10	施設名	中野市民会館(ソラホール)	C	—
	指定管理者	株式会社岩野商会		
	施設概要	大ホール(定員781人)、小ホール(定員176人)、楽屋4室、会費室3室、スタジオ、リハーサル室、駐車場		
	指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な 実施事業	貸館事業、自主事業(文化事業、健康増進事業、会場装飾事業)		
	担当課	文化スポーツ振興課		

施設状況			年度評価 結果 (7段階)	前年評価 結果
11	施設名	中野市農村環境改善センター帯の瀬ハイツ	B	B
	指定管理者	公益社団法人中野広域シルバー人材センター		
	施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室、多目的ホール、事務室、農事相談室、健康相談室、浴室、管理人室、機械室、倉庫、トイレ		
	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料＋利用料金制		
	主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業		
	担当課	農業振興課		
12	施設名	中野市豊田農産物加工施設	B	B
	指定管理者	中野市豊田農産物加工施設利用組合		
	施設概要	加工室、研修室、材料搬入室、材料庫、熟成室		
	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料＋利用料金制		
	主な実施事業	おやき、アップルパイ、惣菜等加工品の製造販売、体験受け入れ		
	担当課	農業振興課		
13	施設名	中野陣屋・県庁記念館	B	B
	指定管理者	一般財団法人信州中野ふるさと公社		
	施設概要	コミュニティールーム、常設展示室、資料展示室、会議室、土蔵資料館、カフェ		
	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な実施事業	管理運営事業、指定管理者による自主事業(喫茶事業、陣屋特別展、ミニギャラリー展示)		
	担当課	商工観光課		
14	施設名	中野市観光会館・日本土人形資料館	B	B
	指定管理者	一般財団法人信州中野ふるさと公社		
	施設概要	展示室・体験室・茶室・会議室・トイレ・事務室・倉庫・前庭・駐車場		
	指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日(3年間)		
	収入	指定管理料		
	主な実施事業	土人形の展示と絵付け体験、管理運営事業		
	担当課	商工観光課		
15	施設名	中野地域職業訓練センター	B+	B
	指定管理者	職業訓練法人中高職業訓練協会		
	施設概要	教室棟(第1～5研修室、多目的ホール、視聴覚室、事務室、調理室、和洋室、トイレ、倉庫)、実習棟(実技室、研修室、実習室、トイレ)、駐車場		
	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)		
	収入	利用料金		
	主な実施事業	施設の管理業務、自主事業(職業能力開発校ほか)		
	担当課	商工観光課		
16	施設名	中野市まちなか交流の家	B+	A
	指定管理者	なつちよ合同会社		
	施設概要	体験室、焼窯室、トイレ、台所、事務室、倉庫		
	指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)		
	収入	指定管理料		
	主な実施事業	施設の管理運営、土人形の絵付け指導、指定管理者による自主事業(施設内絵付け体験事業、出張絵付け体験事業、土人形制作販売及び付随品の販売、中野土人形販売)		
	担当課	商工観光課		

施設状況			年度評価 結果 (7段階)	前年評価 結果
17	施設名	中野市関係人口創出拠点施設(ZENYA)	B	B
	指定管理者	なっちょ合同会社		
	施設概要	交流スペース、コワーキングスペース・レンタルオフィス、多目的ルーム(宿泊、オフィス利用)		
	指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料+利用料金		
	主な 実施事業	貸しスペース事業・飲食店運営事業、宿泊事業		
	担当課	商工観光課		
18	施設名	中野市豊田温泉公園(もみじ荘)	B-	B
	指定管理者	一般財団法人信州中野ふるさと公社		
	施設概要	もみじ荘、ゲートボール場		
	指定期間	令和7年4月1日～令和11年3月31日(4年間)		
	収入	指定管理料+利用料金		
	主な 実施事業	温泉、食堂、休憩コーナー、ゲートボール場		
	担当課	商工観光課		
19	施設名	中野市豊田ふるさと交流館(道の駅ふるさと豊田)及び豊田赤坂農村公園	B	B
	指定管理者	一般財団法人信州中野ふるさと公社		
	施設概要	売店、直売所、食堂、公衆トイレの運営及び維持管理、ドッグラン		
	指定期間	令和7年4月1日～令和11年3月31日(4年間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な 実施事業	道の駅、交流館、特産品販売コーナー、農産物直売所、食堂、ドッグラン運営		
	担当課	商工観光課		
20	施設名	中野市ふるさと交流拠点施設(タカギセイコーふるさとパーク)	B	B-
	指定管理者	一般財団法人信州中野ふるさと公社		
	施設概要	アリーナ、グラウンド、芝生広場、駐車場、トイレ棟、事務室		
	指定期間	令和5年10月1日～令和10年3月31日(4年6ヶ月間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な 実施事業	利用許可、自主事業、管理運営事業		
	担当課	商工観光課		
21	施設名	一本木公園ほか2施設(計3施設)	B+	B
	指定管理者	一般社団法人一本木公園バラの会		
	施設概要	一本木公園:多目的広場、修景広場、野外ステージ、遊戯広場、林間プロムナード、あずまや(全面積3.4ha) 一本木公園展示館 一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム		
	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な 実施事業	施設及び設備の維持管理事業、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業		
	担当課	都市建設課		
22	施設名	北信濃ふるさとの森文化公園	B-	B
	指定管理者	株式会社岩野商会		
	施設概要	サマーボブスレー及び遊具等、マレットゴルフ場、オートキャンプ場、多目的グラウンド、デイキャンプ場、ハーブ園ほか		
	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な 実施事業	施設及び設備の維持管理事業、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業		
	担当課	都市建設課		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	健康福祉部 福祉課		評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中野市福祉ふれあいセンター及び中野市さんさん館						
指定管理者	社会福祉法人中野市社会福祉協議会		指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)			
根拠法令	障害者総合支援法、児童福祉法						
設置条例	中野市福祉ふれあいセンター条例、中野市介護予防拠点施設条例						
施設設置目的	・障がい者の福祉の増進を図るため。 ・高齢者及び障がい者の自立生活の助長を行うとともに、健康の増進及び生きがいづくりの推進を図るため。						
施設概要	事務室、作業室、保育室、相談室、会議室、訓練室他						
施設の主な実施事業	福祉ふれあいセンター(身体障がい者福祉センター、心身障がい者共同作業訓練施設【竹馬】)、中野市さんさん館(介護予防拠点施設)、福祉ふれあいセンター永田分場(共同作業訓練施設【たんぼぼ】)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	別紙のとおり					0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	41,835,000	市収入額	0
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	44,601,336	44,603,000	△ 1,664	44,605,036	42,921,951	1,683,085
	自主事業	21,500	18,000	3,500	12,228	18,720	△ 6,492
	合 計	44,622,836	44,621,000	1,836	44,617,264	42,940,671	1,676,593
職員の配置状況	福祉ふれあいセンター及びさんさん館:所長1名(兼務)、所長代理1名(兼務)、指導員6名 福祉ふれあいセンター永田分場:分場長1名(兼務)、指導員2名 合計13名(常勤職員8名、非常勤職員1名)						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年9月22日	二回目	令和8年3月24日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
①就労継続支援A型・B型、一般就労への移行に向けた取り組みについて 施設外就労や体験実習等を通して、就労継続支援A型・B型、一般就労へ移行できるように関係機関と連携を図り、職員でサポートしていく。	→	今年度は、就労継続支援A型・B型に就けた利用者はいなかったが、引き続き、訓練や施設外就労の充実を図り、利用者を支援していきたい。
②デジタル化への対応について ふれあい講座のアンケートの回答については、デジタル化を取り入れているが、共同作業訓練施設においてもできる限りデジタル化し、職員や利用者の利便を図っていく。	→	共同作業訓練施設において、今年度はデジタル化を図ることができなかった。引き続き、職員や利用者の利便を図るよう検討していきたい。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 脳トレ講座やコーヒー講座などを引き続き行ってほしい。	→	講師と相談し、今後も有意義な講座を継続していくようにする。
【苦情・改善の要望】 短期ではなく、1年を通して体操講座など体を動かす講座を行ってほしい。	→	講師と相談しながら、検討し対応していく。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	永田分場については、利用者のニーズと施設の雰囲気マッチングし、新規利用者が増えた。	30.2
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり	苦情などはなかった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり	情報公開の規程を設け、積極的に情報公開を受けれる状態となっていた。	50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり		16.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり	適正に管理され、瑕疵による破損・紛失等はなかった。	25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		28.5
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり		
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり	心身障がい者共同作業訓練施設(竹馬)においては、デジタル化への対応ができなかった。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり	心身障がい者共同作業訓練施設(竹馬)においては、デジタル化への対応ができなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり	ホームページ上に個人情報保護方針を公開した。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり		45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり	市が主催する研修会へ参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(3)-④ デジタル化への対応を行ったか	施設を管理運営するにあたり、職員や利用者の利便を図るために、できる限りデジタル化を取り入れていくよう改善指導していく。
(3)-⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	共同作業訓練施設においても、できる限りデジタル化を取り入れていくよう引き続き改善指導していく。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	30.2 (50)	○施設の管理運営にあたっては、利用者ニーズを踏まえた各種講座や事業を実施し、障がい者の社会参加及び自立支援の促進に努めており、また、安全管理や関係機関との連携を図りながら、安定した施設運営に努めている点を評価する。
(2) 財務の視点	16.0 (25)	
(3) 業務の視点	28.5 (45)	
(4) 人材の視点	13.0 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	非常用照明設備不良個所修理	297,000	0	不良個所修理
	エアコン修理一式	253,000	0	故障のため
	エアコンパッケージ修理	109,780	0	故障のため
	消防点検不良個所修理一式	64,900	0	不良個所修理
	フェンス取替工事	99,066	0	故障のため
	引き戸シリンダー交換	99,000	0	故障のため
	その他工事	477,910	0	パネルヒーター修理他 故障等のため
	合 計	1,400,656	0	
事業計画書に定める修繕費の額		1,432,000	指定管理料に含まれる修繕費	0
差 額		△ 31,344	修繕費合計額	1,400,656
			差額(精算対象額)	1,400,656

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	カラープリンター	48,280	0	NHK歳末助け合い募金特別配分事業において、148,280円のプリンター購入の内48,280円負担
	合 計	48,280	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		49,000	指定管理料に含まれる備品購入費	0
差 額		△ 720	備品購入費合計額	48,280
			差額(精算対象額)	48,280

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

施設利用状況

(別紙)

	利用区分等(単位)	令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	身体障がい者福祉センター利用者数(人)	8,585	8,600	99.8%
	母子通園訓練施設利用者数(人)※休止中	—	294	0.0%
	共同作業訓練施設利用者数(人)	1,900	1,867	101.8%
	永田分場利用者数(人)	542	443	122.3%
	さんさん館利用者数(人)	1,538	1,652	93.1%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	12,565	12,856	97.7%
施設 使用 回数 (回)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用回数 合計	0	0	0.0%
施設 利用 料金 (円)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用料金 合計	0	0	0.0%

3 事業の実施状況

区 分	評価内容	身体障がい者福祉センター	共同作業訓練施設	永田分場	さんさん館													区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	5	10	5													30.2
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	5	5	5													
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	7	7	7													
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5	5	5	5													
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	7	7	7	7													
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3	3	3	3													16.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3	3	3													
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3	3	3													
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3	3	3													
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	4	4	4	4													
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3	3	3													28.5
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3	3	3													
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3	3	3	3													
	④ デジタル化への対応を行ったか。	3	2	3	3													
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3	2	3	3													
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3	3	3													
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	4	4	4	4													
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	4	4	4	4													
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	3	3	3	3													
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3	3	3													13.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3	3	3													
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	4	4	4	4													
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3	3	3													

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	健康福祉部 福祉課	評価対象年度	令和7年度		
施設名称	中野市精神障害者社会復帰施設							
指定管理者	社会福祉法人中野市社会福祉協議会		指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)				
根拠法令	障害者総合支援法							
設置条例	中野市精神障害者社会復帰施設条例							
施設設置目的	精神障がい者の社会復帰施設の促進を図るため。							
施設概要	りんごの木共同作業所(作業所、展示室、休養室、食堂、事務室等) びあワーク就労支援施設(作業室、静養室、会議室、食堂、事務室等)							
施設の主な実施事業	精神障がい者に対する生活訓練、作業訓練及び就労指導							
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	別紙のとおり					0.0%		
						0.0%		
						0.0%		
						0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	13,392,000	市収入額	0		
	項 目	予算額			決算額			
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支	
		指定管理業務	74,978,006	84,714,000	△ 9,735,994	74,988,195	79,613,530	△ 4,625,335
		自主事業	74,249	73,000	1,249	74,594	30,000	44,594
合 計	75,052,255	84,787,000	△ 9,734,745	75,062,789	79,643,530	△ 4,580,741		
職員の配置状況	りんごの木共同作業所:所長(兼務)1名、指導員3名 計(実人員)3名 びあワーク就労支援施設:所長(兼務)1名、所長代理兼生活支援員1名、サービス管理責任者1名、生活支援員1名、目標工賃達成指導員1名、生活支援員兼調理員1名、生活支援員兼事務員1名 計(実人員)7名							
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年9月22日	二回目	令和8年3月24日				

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
①就労継続支援A型・B型、一般就労への移行に向けた取り組みについて 施設外就労や体験実習等を通して、就労継続支援A型・B型、一般就労へ移行できるように関係機関と連携を図り、職員でサポートしていく。	→	関係機関と連携を図り、2名が一般就労に繋がった。
②デジタル化への対応について びあワークについては、一部業務をデジタル化し、職員の事務作業の省力化を図っていることをりんごの木でも取り入れ、支援にかかる時間を充実させていく。	→	りんごの木においても、一部業務をデジタル化し、事務作業の省力化を図った。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 昼食提供を引き続きおこなってほしい。(びあワーク)	→	バランスの良い食事提供を継続し実施した。
【苦情・改善の要望】 作業品目を増やしてほしい。(2施設共通)	→	社協内の施設と共同し、新しい作業に取り組んだ。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり		32.5
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり	利用者からの意見を収集し、サービス向上に努め、また、関係機関との連携を図り、利用者を一般就労へ繋げた。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり	苦情などはなかった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり	情報公開の規程を設け、積極的に情報公開を受けれる状態となっている。	
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり		16.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり	適正に管理され、瑕疵による破損・紛失等はなかった。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		29
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり		
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり	ホームページ上に個人情報保護方針を公開した。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり	市が主催する研修会へ参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	32.5 (50)	○びあワーク就労支援施設では、就労継続支援B型事業において、利用者の一般就労への移行実績が見られるなど、就労支援の成果が認められる。また、コーヒー豆を自家焙煎し、トリップバック詰め作業等を行うなどの新規事業にも取り組み、利用者の工賃向上に繋げており、利用者支援の充実に努めている点を評価する。 ○りんごの木共同作業所では、地域活動支援センターとして、利用者への創作活動などを通じ、社会参加の促進に努めており、新しい自主製品の製作や各種イベント時での販売などを積極的に行い、利用者サービスの向上が図られている点を評価する。
(2) 財務の視点	16.0 (25)	
(3) 業務の視点	29.0 (45)	
(4) 人材の視点	13.0 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入	
	エアコン修理・外灯ランプ交換	27,912	0	りんごの木:故障のため	
	換気扇交換・トイレ換気扇取り付け工事	152,680	0	りんごの木:故障のため	
	ウォシュレットメンテナンス・下水道排水詰まり直し他	44,800	0	りんごの木:故障のため	
	合 計	225,392	0		
事業計画書に定める修繕費の額		418,000	指定管理料に包含される修繕費		0
差 額		△ 192,608	修繕費合計額		225,392
			差額(精算対象額)		225,392

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	合 計	0	0		
事業計画書に定める備品購入費の額			指定管理料に包含される備品購入費		0
差 額		0	備品購入費合計額		0
			差額(精算対象額)		0

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

施設利用状況

(別紙)

	利用区分等(単位)	令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	りんごの木共同作業所利用者数(人)	1,807	1,825	99.0%
	びあワーク就労支援施設利用者数(人)	5,718	6,230	91.8%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	7,525	8,055	93.4%
施設 使用 回数 (回)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用回数 合計	0	0	0.0%
施設 利用 料金 (円)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用料金 合計	0	0	0.0%

3 事業の実施状況

区 分	評価内容	りんこの木 共同作業所	びあワーク 就労支援施設														区分得点
(1) 市民の 視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	5														32.5
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	7														
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	7														
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5	5														
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	7	7														
(2) 財務の 視点	① 計画どおり収入が得られたか	3	3														16.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3														
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3														
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3														
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	4	4														
(3) 業務の 視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3														29.0
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3														
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3	3														
	④ デジタル化への対応を行ったか。	3	3														
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3	3														
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3														
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	4	4														
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	4	4														
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	3	3														
(4) 人材の 視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3														13.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3														
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	4	4														
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3														

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	子ども部 子育て課	評価対象年度	令和7年度
施設名称	中野市子育て支援拠点施設(HUBLIC)					
指定管理者	合同会社WIP			指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年間)	
根拠法令	児童福祉法					
設置条例	中野市子育て支援拠点施設条例、中野市子育て支援拠点施設管理規則					
施設設置目的	子育て支援に関する基盤形成を推進し、子育て支援の充実を図るため。					
施設概要	子育て支援センター、子育てサポートエリア、一時預かり室、多目的運動施設、屋外運動場、駐車場、自主事業施設、その他の施設					
施設の主な実施事業	管理運営事業、施設の維持管理及び設備等の保守管理、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、子育てサポートエリア管理運営業務及び自主事業に関する業務					
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)
	利用者数			36,490	38,813	94.0%
	(うち一時預かり利用者数)			427	758	56.3%
						0.0%
						0.0%
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	31,700,000	市収入額	0
	項 目	予算額			決算額	
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出 収 支
	指定管理業務	33,701,181	33,100,000	601,181	33,182,031	33,237,796 Δ 55,765
	自主事業	30,813,842	34,365,000	Δ 3,551,158	26,818,535	39,897,580 Δ 13,079,045
	合 計	64,515,023	67,465,000	Δ 2,949,977	60,000,566	73,135,376 Δ 13,134,810
職員の配置状況	施設長1人(兼務)、子育て支援センター員3人、一時預かり業務2人 計5人					
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年7月17日	二回目	令和7年12月10日		

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・近くに充実した施設がないため重宝している。 ・無料で気軽に遊べてありがたい。祖父母も来やすい。 ・新しいことを取り入れたり、環境も常に工夫している。 ・職員が優しく声をかけてくれて嬉しい。 ・丁寧な対応、清涼感ある施設でのびのび過ごすこと出来た。 ・飲食の販売があり楽しみ。(普段子連れで外食できないため)	→	・平日は乳幼児、休日は幼児・学童の利用多い。地域の遊び場として多年齢、多市町村の方々が利用し易い環境づくりをしている。 ・母親のみならず、父親や祖父母の来館割合が高い。HUBLICの広さや職員との丁度いい距離感が特徴、どなたにも笑顔で親切な対応を心がけている。全天候型で、座って遊べるスペース、大型遊具、体育館やグラウンド(人工芝敷設)まで重宝されている。飲食スペースは喜ばれ、休日は長時間過ごす方がいる。
【苦情・改善の要望】 ・小さい子がいる中で、小学生や大きい子が走り回る姿があり、危ない。 ・地元の食材やおやつになる物の販売が欲しい。 ・4歳くらいまではのびのびと遊べるが、大きくなってくると物足りない。全身を使えるアスレチックや鉄棒などが欲しい。	→	・職員による見回りや声掛け、注意書きの掲示、SNSによる安全の注意喚起を行っている。 ・GATEやCAFÉでの飲食物、地場産野菜、果物、クッキーなど販売しているが、営業日カレンダーのSNS告知や館内掲示、営業中も随時SNS配信を行っている。 ・体育館遊具の貸し出しを行っている。今後もより多くの方々に楽しんでいただけるよう創意工夫を行っていきたい。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		36
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	アンケート調査からも利用者満足度は目標80%を超え87.7%と高い水準を維持している。日常の声掛けや各種子育ての会を開催し、育児中の孤立をなくす取組みを行っている。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	問い合わせや要望など、迅速な対応と関係機関との連携を図っている。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	10	インターナショナルスクールでは、プレスクール3人、小学部17人の児童が通学し学習活動、また、サークルリーダーズ、シェアキッチン等の営業、GATEでの子供服・野菜加工品販売、イベントなど多岐に渡り実施。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	7	業務日誌、会議録、利用者対応記録を作成・保管し、日常業務の中で情報公開に対応できるよう備えている。	
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		19
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	5	インターナショナルスクールの使用エリアに応じて光熱水費等を按分し、自主事業で応分の負担をしていただき、指定管理料の低減に努めている。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	適切かつ明確に区分され、報告を受けている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	適切に管理され、備品台帳に整理している。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	必要な保守・点検を実施するとともに、日常の目視点検や清掃を行い、軽微な修繕などは指定管理者で迅速に対応した。	39
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	4	救急救命講座、消防訓練、子育て講座研修会を計画的に実施した。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	4	利用者数など、分析ができるよう詳細な区分(市内外、年代、家族構成)がわかるよう整理し毎月報告いただいている。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	5	現在、中野市企画財政課DX推進係と協議を繰り返し、中野市公式LINEを使用した入退室管理システムの構築を進めている。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	改善指導なかったが、中庭の景観維持や管理、グラウンドの活用など、子育て課と連携し改善に努めた。(ピオトープの維持、高圧洗浄機による清掃、人工芝の敷設や管理)	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	危機管理マニュアルを作成し、全職員に周知・訓練を実施した。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	4	HPに個人情報保護方針を掲載している。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	5	子育て家庭への支援を通じて、すべての人が安心して暮らせる地域社会の実現に貢献した。また規格外農産物の販売により、持続可能な農業の支援をした。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	4	施設長は兼務であるものの、マーケティングに長けた現場スタッフリーダーを別途設置している。	16
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	4	職員5人のうち3人以上の保育士資格者を確保している。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	火災防犯研修、救急救命講習、子育て支援研修を実施している。市で主催する研修会に参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	4	労働関係法令を遵守した。職員の働きやすさを考慮し、市へ開館時間や休館日に関する検討を行い提言を行った。	
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	36 (50)	指定管理事業3年が終了し、当初計画に予定していた目標や成果は概ね達成できている。全天候型のお出かけスポットとして、認知も広がり市内外を問わずリピーターは多い。近隣市にも新たに同様な施設がオープンし影響はあるものの、利用料がかからないといった他施設との違いを生かしながら事業を展開している。今後は、いかに目新しさを打ち出し土・日・祝日など遊び場ニーズに対応していくかが重要と考える。 また、賑わいの一方で、落ち着いた環境の中、座談会や相談体制の充実、一時預かり事業での丁寧な保育に力を入れている。 安全管理については、定期点検を適切に行うとともに、目視によるチェックも怠らないよう努力している。 入退室管理について、来館者に紙の受付簿で記入していたものを見直し、LINEを活用したデジタル化を検討し準備を進めている。利用者の利便性向上と混雑緩和につなげるため速やかに実現していきたい。 GATEにおける地場産農産物の販売は好評で、地域の作家による手作り小物も子育て世代に沿った商品を販売、楽しみにしておられる方も多い。 年間の利用者数は減少しているため、リピーターの確保とともに新規開拓に努め、質の向上を目指していきたい。CAFEの利用率を上げるため、定期的な出店につなげるべく事業者と協議を進めている。 子育てサークルの利用促進、親同士のネットワーク化を進めていきたい。
(2) 財務の視点	19 (25)	
(3) 業務の視点	39 (45)	
(4) 人材の視点	16 (20)	
年度評価	A	
優 良		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	トイレ廻りの修繕	102,850	230,000	
	藤棚撤去	80,000	80,000	
	電気廻りの修繕	35,000	0	中部電気保安協会SOG操作紐交換修繕、中部電力開閉器操作費
	水栓修理	16,170	20,000	
	幼児避難車修理	12,600	20,000	
	網戸、窓修繕	216,548	100,000	西階段日よけフック取付、網戸、体育館丸窓、1階窓ガラス
	車止め・縁石修繕	35,000	50,000	
	合 計	498,168	500,000	
事業計画書に定める修繕費の額		500,000	指定管理料に含まれる修繕費	0
差 額		△ 1,832	修繕費合計額	498,168
			差額(精算対象額)	498,168

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	インパクトドライバー	34,480	40,000	
	草刈り機、高圧洗浄機	39,291	50,000	
	避難車置場	11,980	30,000	
	網戸	60,060	120,000	
	空気清浄機	49,600	60,000	
	合 計	195,411	300,000	
事業計画書に定める備品購入費の額		300,000	指定管理料に含まれる備品購入費	0
差 額		△ 104,589	備品購入費合計額	195,411
			差額(精算対象額)	195,411

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	子ども部 子育て課	評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中野市児童センター及び中野市放課後児童クラブ						
指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社		指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）			
根拠法令	児童福祉法						
設置条例	中野市放課後児童クラブ条例、中野市放課後児童クラブ管理規則						
施設設置目的	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に適切な遊び及び生活の場を与え、その健全育成を図るため。						
施設概要	中野児童センター放課後児童クラブ、平野児童センター放課後児童クラブ、中野放課後児童クラブ、日野放課後児童クラブ、延徳放課後児童クラブ、平野放課後児童クラブ、高丘放課後児童クラブ、高社放課後児童クラブ、豊田放課後児童クラブ						
施設の主な実施事業	センター業務（利用許可、施設の維持管理、自主事業含む）、児童クラブ業務（利用許可、施設の維持管理、自主事業含む）						
施設利用状況	利用区分等（単位）			令和7年度実績（A）	令和6年度実績（B）	比較（A）／（B）	
	別紙のとおり					0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 （単位：円）	利用料金制	採用（指定管理料あり）	指定管理料額	106,700,000	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	121,173,297	120,575,000	598,297	118,864,257	118,265,960	598,297
	自主事業	0	0	0	0	0	0
	合 計	121,173,297	120,575,000	598,297	118,864,257	118,265,960	598,297
職員の配置状況	統括責任者1人、館長2人、所長8人、副所長2人、放課後児童支援員31人 準放課後児童支援員22人、支援員30人 計96人						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年4月16日	二回目	令和8年1月14日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
事故等報告書について、事案発生後速やかに子育て課へ報告する。教師など学校が関わった事案については、直ちに学校教育課へ連絡するよう手順や運用フローを改める。	→	事故報告については、各所長が統括責任者へ連絡し、統括責任者から速やかに子育て課等へ報告するフローとした。事実確認に時間を要する場合も、第1報として速やかに報告するよう統一した。
利用者ニーズに応じた自主事業について計画していく。	→	全放課後児童クラブにおいて、全国の子どもたちとリモートにより繋がり、交流やけん玉をする機会を持った。また、中野、平野、高社、ばらっ子において、木工教室を開催しミニ座椅子を作った。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 いつも子どもを大切に接していただき感謝している。今後も変わらずお願いしたい。安心して通わせることが出来ている。 色々なイベントなど、過ごし方を工夫し、子どもたちも楽しんでいる。 送迎時の保護者との会話や世間話も嬉しい。 子どももクラブに行くのが楽しみで助かっている。	→	迎えに来た保護者とのコミュニケーションや会話に本日の気づきや出来事等をしっかり伝えるように指導している。引き続き漏れないよう対応していきたい。 今後もOJTを含めた研修をしっかりと行い、保護者が安心して頂けることのできる放課後児童クラブ「第2の家」を目指していく。
【苦情・改善の要望】 アプリで出欠表を提出したい。急な出欠連絡をアプリで出来るようにして欲しい。問題を起こす児童の保護者にきちんと注意し、問題を頻繁に起こす児童の利用を停止して貰いたい。定員が多く騒がしいため、子どもが児童クラブに行かなくなった。寺子屋のようにアットホームな児童クラブであって欲しい。子どもは「ルールが多すぎてわからなくなると言っている。	→	コドモンで出欠管理が出来るか確認していきたい。多動性障害や発達障害等様々なお子さんが居り、対応を知る研修やOJTを通じて支援員へ指導していく。利用者の多い放課後児童クラブで、元気な子どもが大勢いるため、無理に静かにさせるではなく、子ども達を中心に「子ども会議」を開催し、児童クラブのルールやしてはいけないこと、やってくれたらうれしいことなど、自主性を持たせて児童クラブでの生活向上や改善を図っていく。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	中野児童センター及び平野児童センターは、利用者減となった。日野放課後児童クラブは1年生の利用が多く、延徳では1年生の利用が少なかった。	23.8
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり	中野放課後児童クラブの過密状況について、利用者が増大する夏休み期間中に、帯の瀬ハイツの講堂を試行的に活用するなど対応を行った。また、駐車場の一部のバリケードを撤去し、敷地内を有効活用し駐車台数の拡大を図った。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり	平野児童センター放課後児童クラブ等では、保護者からの情報提供により、児童に対し一部高圧的な支援があったことが確認された。中野放課後児童クラブでは、児童や保護者に威圧的な職員がいるとの情報が寄せられ、指導を行った。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり	全放課後児童クラブにて、本社企画の工作や遊び道具を活用して楽しんで頂いた。全国の子供たちとリモート交流やけん玉大会を行った。木工教室は、材料の関係で、中野、平野、高社、ばらっ子のみでの開催となった。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり		50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり		16.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり	適切に管理を行っている。	25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり	全施設で、目視による保守点検、定期清掃を実施している。机等のアルコール消毒拭きを毎日実施	30.8
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり	全施設で、全従業員に対し、守秘義務に対する研修や、児童虐待に対応する研修を行った。また、施設毎に社内ネットによるビデオ研修を行っている。新人には、入社時研修を行っています。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり	報告の遅延はないが、内容の充実が図られていない。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり	改善指示があった事案については適切に対応した。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり	全施設にマニュアルを設置、定期的に内容を確認し、訓練を実施し緊急連絡網も最新化している。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり	事故報告のあった施設については、一部報告の遅延もあったが、適切に対応をした。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり	全職員に対し、毎年個人情報保護研修を行っている。また個別に鍵のかかる保管場所へ保管を徹底させている。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり	遊びの中にSDGsの体験を取り入れたプログラムを導入。環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題解決にチャレンジしながら、遊びを通じて「池に落ちているゴミを釣りゲーム！」(環境)等で児童がSDGsを学ぶ機会を作っている。	45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり	全施設、経験を持ち合わせた責任者を配置している。	16
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり	全施設協定書に定める必要人数を適切に配備している。また、積極的に放課後指導員の資格取得を推進し、若い人材を育成し必要人数以上の配置を行っている。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり	スキル習得や業務知識習得のために、シダックスチャイルドケアプログラムを見て研修を行っている。また、市が主催する研修へ参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり	法令遵守はもちろん法令内の労働時間になるよう十分注意をしている。	20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1)-① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	児童センターの利用者数を増やすため、チラシを作成し配布しているが改善は出来ていない。配布先を工夫していく。放課後児童クラブについては、利用者数の増減で変化しているが、利用し易い環境をもっと考えていきたい。
(1)-③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	報告・連絡・相談への対応を迅速にできるよう研修を行う。個人判断をして対応が遅れるケースがあり、責任者の現場把握が綿密に行える環境づくりを行っていく。
(3)-③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか	報告に遅滞はないが、内容の充実が図られていない。自主事業の充実を含め業務として行った内容が具体的にわかる報告をするよう指導していく。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	23.8 (50)	放課後児童の健全な育成と、保護者が安心して就労し生活を安定させることができる放課後児童クラブへの保護者の期待は大きいものがある。 施設毎に様々な課題はあるが、支援が必要なお子さんが増えてきている状況もあり、副所長を配置するなど工夫をしながら運営を改善してきている。 一部の職員の言動や態度に苦情が寄せられたが、地道に研修やOJTを行うなど改善を図り、人材の若返りも行っている。 自主事業については、木工教室の開催やリモートでの交流やけん玉大会など利用者負担のかからないかたちで事業を行った。 引き続き、集団生活の中で他人を尊重し、思いやる気持ちを育み、優しい気持ちで過ごせる環境を提供し、子どもたちが楽しみながら日常生活を送れ、体を動かす遊びを通じて、自身を守る力・行動する力・育む力を育成していく。
(2) 財務の視点	16.0 (25)	
(3) 業務の視点	30.8 (45)	
(4) 人材の視点	16.0 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	バラっ子入口鍵修理代	8,000	30,000		
	高社渡り廊下デッキ修理代	100,000	150,000		
	バラっ子窓ガラス修理代	74,500	0	飛び石？によるガラス破損の為	
	中野児童センターストーブ修理代	24,200	40,000		
	平野児童センターストーブ修理代	37,400	40,000		
	高丘ストーブ修理代	6,600	40,000		
	高社トイレの詰まり修理代	49,500	0	トイレが詰まって使用できなくなった為	
	合 計	300,200	300,000		
指定管理者が負う修繕費 上限額		300,000	指定管理料に包含される修繕費		300,000
差 額		200	修繕費合計額		300,200
			差額(精算対象額)		200

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	LEDライト設置2か所	54,400	50,000		
	プリンター入替2台	56,060	0	高丘、中野でプリンター故障の為	
	掃除機2台	41,210	0	高社、ばらっ子で掃除機故障の為	
	テレビ入替2台	69,800	100,000		
	ロッカー、靴箱、パイプ棚等	128,000	200,000		
	合 計	349,470	350,000		
事業計画書に定める備品購入費の額		350,000	指定管理料に包含される備品購入費		350,000
差 額		△ 530	備品購入費合計額		349,470
			差額(精算対象額)		△ 530

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

施設利用状況

(別紙)

	利用区分等(単位)	令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	中野児童センター	20	40	50.0%
	平野児童センター	48	99	48.5%
	中野児童センター放課後児童クラブ	13,644	13,669	99.8%
	平野児童センター放課後児童クラブ	7,156	7,587	94.3%
	中野放課後児童クラブ	11,658	11,879	98.1%
	日野放課後児童クラブ	3,095	2,350	131.7%
	延徳放課後児童クラブ	3,996	4,868	82.1%
	平野放課後児童クラブ	8,138	8,068	100.9%
	高丘放課後児童クラブ	7,992	8,113	98.5%
	高社放課後児童クラブ	15,750	17,232	91.4%
	豊田放課後児童クラブ	4,853	5,231	92.8%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	76,350	79,136	96.5%
施設 使用 回数 (回)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用回数 合計	0	0	0.0%
施設 利用 料金 (円)	中野児童センター放課後児童クラブ	173,000	211,500	81.8%
	平野児童センター放課後児童クラブ	87,500	42,500	205.9%
	中野放課後児童クラブ	103,000	110,500	93.2%
	日野放課後児童クラブ	2,500	12,000	20.8%
	延徳放課後児童クラブ	26,500	35,000	75.7%
	平野放課後児童クラブ	99,500	56,500	176.1%
	高丘放課後児童クラブ	67,500	48,500	139.2%
	高社放課後児童クラブ	88,000	63,500	138.6%
	豊田放課後児童クラブ	29,000	36,500	79.5%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用料金 合計	676,500	616,500	109.7%

3 事業の実施状況

区 分	評価内容	中野児童センター	平野児童センター	中野児童センター 放課後児童クラブ	平野児童センター 放課後児童クラブ	中野放課後児童クラブ	日野放課後児童クラブ	延徳放課後児童クラブ	平野放課後児童クラブ	高丘放課後児童クラブ	高社放課後児童クラブ	豊田放課後児童クラブ					区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	1	1	5	5	5	10	2	5	5	5	5					23.8
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	5	5	5	7	5	5	5	5	5	5					
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5	5	5	2	2	5	5	2	5	5	5					
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5					
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5					
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3					16.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3					
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3					
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3					
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4					
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4					30.8
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3					
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2					
	④ デジタル化への対応を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3					
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	4	4	4	3	3	4	4	3	4	3	3					
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4					
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	4	3	4	3	3	4	4	3	4	3	3					
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4					
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4					
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4					16.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4					
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4					
	④ 労働関係法令を遵守したか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4					

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	子ども部 子育て課	評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中野市子育て支援センター						
指定管理者	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)			
根拠法令	児童福祉法						
設置条例	中野市子育て支援センター条例、中野市子育て支援センター管理規則						
施設設置目的	就学前の児童及びその家庭を中心に子育て支援を実施することにより、児童福祉の向上を図る。						
施設概要	中央子育て支援センター、豊田子育て支援センター(一時預かり室、調理室、和室含む)						
施設の主な実施事業	地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業(豊田子育て支援センター)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	別紙のとおり					0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	32,441,000	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	32,267,346	33,161,000	△ 893,654	32,564,846	33,022,062	△ 457,216
	自主事業	39,000	10,000	29,000	39,850	2,824	37,026
	合 計	32,306,346	33,171,000	△ 864,654	32,604,696	33,024,886	△ 420,190
職員の配置状況	・所長、副所長、総務経理 各1人(他事業所兼務) ・中央子育て支援センター 館長1人、支援員2人(正職員、一時預かり兼務) ・豊田子育て支援センター 館長1人、支援員2人(正職員、一時預かり兼務) ・豊田一時預かり室 保育士2人(正規職員専任、非常勤)						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年7月7日	二回目	令和7年12月8日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 (1)利用者の満足度 満足93.8% (2)職員と楽しく話せる。職員が必ず声をかけてくれる。温かい雰囲気 がとても良い。 (3)毎月の工作がとても工夫されている。 (4)イベントがたくさんあって良い。	→	(2)利用者が孤立したり、孤独な様子が見られることがある場合、 職員は状況を把握し、明るく声をかけることを心がけている。 (3)家庭ではできない体験として、制作(工作)の機会を作り、親子 で楽しむ体験ができるように研修をしている。 (4)手軽に参加できるイベントの開催や、ボランティアのような地域 資源の発掘を心がけている。
【苦情・改善の要望】 (1)就園児の通院後の来館についての対応について、排他的に感じ た。(市へ投書) (2)一時預かりのキャッシュレス化 (3)一時預かりの申込書の書き方 (4)一時預かりWEB申し込みの要望	→	(1)中野市所管課からの問い合わせを受け、状況確認し、ガイドラ インの提示表や職員の接遇を再研修した。 (2)キャッシュレス化に向けて、業者と話し合いを行い、市と検討を 進めたい。 (3)2回目以降の申し込みを簡略化した。 (4)一時預かりの安全配置のために対面による受付が必要である ことをアンケートなどで回答した。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	中央子育て支援センターは若干の減少であったが、豊田子育て支援センターは一時預かりの利用とともに増加している。	37.0
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり	利用満足度について、目標の75%を大きく超えて、93.8%であった。利用者との対話を大切にし、豊田では飲食ルーム設置とお茶の販売ができ利便性を向上させた。中央ではイベント開催を多くした。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり	一時預かりの意見や要望に対応し、他の事業所を紹介するなど連携をした。随時案件については、所管課へ相談し、方針の確認と共有をした。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり	一時預かり利用者の負担削減のための、自主事業として布団レンタルとオムツ食事用品の調達を支援した。工作ワークショップは親子で楽しむ体験ができ好評である。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり	情報公開の規程に従い、SNSや施設内での写真公開について、利用者の了承を得ながら行っている。	
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり	一時預かり事業の計画額を上回る収入があった。自主事業も安価での提供により好評であった。	19.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり	一時預かりの丁寧な保育により、継続利用が広がり、利用者の増加・収入増に繋がった。自主事業も要望を取り入れ収入増に繋がる取組みが出来た。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり	適切かつ明確に区分している。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり	適切に管理され問題はなかった。	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		38
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり	コンプライアンス研修、子ども虐待防止研修、子どもの権利条約研修を実施した。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり	業務報告は、毎月適切に行われた。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり	Instagramの開始、ホームページの更新、一時預かり申込書のWEB化を行った。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり	改善指示はなく、運営状況は適切であった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり	防災訓練は両施設とも計画どおり実施し、危機管理マニュアルを備え、緊急連絡網は周知されている。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり	事件・事故はなかった。注意喚起について施設内を点検し異常はなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり	個人情報の保護については法人方針に基づき、鍵のついたロッカーに保管している。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり	持続可能な社会実現のため、もったいないバザール(大規模子ども衣料品のリユース会)を2回、パンパントリー(パンの無料配布)、牛乳パック空き容器等でのおもちゃづくりを行った。	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり	保育士資格と十分な経験を兼ね備えた支援員を各センターに配置するとともに、基本協定以上の職員数を確保している。	16
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり	総務経理の専任、一時預かり時の職員配置は利用状況に合わせ適正配置を行っている。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり	職員リーダー研修、一時預かり職員の救急法研修、傾聴研修を実施した。市で主催する研修会に参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり	労基法の遵守、36協定の策定と遵守、健康診断の全員受診	
				50
				25
				45
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	37.0 (50)	(1)全国的傾向と同様、中野市の出生数は減少傾向であることや、入園の低年齢化で利用対象児童は減少しているものの、中央では著しい減少とまではならず、豊田は継続利用者を確保し増加に繋げている。温かい雰囲気の利用者に伝わり好評をいただいている。 また利用者が友達などを紹介し利用に至ることもあった。市内の利用者は90%を超え、身近で多くのイベントが楽しめるよう開催日が他と被らないようになど工夫しながら実施している。 (2)一時預かり事業は就労による利用が定期的に入り、予算額を大きく上回った。利用者の要望を把握し自主事業に反映し好評を得ている。 (3)コンプライアンス研修、虐待防止法、子ども権利条約研修、子育てに関した研修を取り入れ職員の資質向上に努めている。 防災や危機管理に関して、法廷訓練の他に、ハザードマップの掲示やBCPの作成を行っている。また個人情報保護、著作権や肖像権に関しての研修を行った。 (4)開館日は、いかなる時も職員の配置要件を満たせるように代替職員の確保を行っている。一時預かりにて、初めての利用や特性のある子を預かる場合に、人員を厚くするなどの対応を行い安心安全に繋がっている。
(2) 財務の視点	19.0 (25)	
(3) 業務の視点	38.0 (45)	
(4) 人材の視点	16.0 (20)	
年度評価	A	
優良		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	中央子育て支援センター 棚嵩上げ工事	50,300	50,000		
	中央子育て支援センター 除雪機点検整備、部品交換	19,910	0	譲渡のあった除雪機の修理	
	中央子育て支援センター 掃除機修理	9,000	0	経年劣化	
	豊田子育て支援センター 自動ドア部品交換	5,830	0	安全確保、危機管理	
	豊田子育て支援センター カーテン修理	38,940	50,000		
	豊田子育て支援センター ブラインド修理	17,003	100,000	ブラインド製造中止のため取り外しのみ	
	豊田子育て支援センター 棚板修理、鍵修理、板固定	59,314	0	利用者の利便性を考慮し改修	
	合 計	200,297	200,000		
事業計画書に定める修繕費の額		200,000	指定管理料に包含される修繕費		0
差 額		297	修繕費合計額		200,297
			差額(精算対象額)		200,297

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	中央子育て支援センター CDラジカセ	21,945	0	経年劣化	
	中央子育て支援センター ロボット掃除機	38,000	50,000		
	豊田子育て支援センター 掃除機	41,000	0	経年劣化	
			50,000	加湿器付き空気清浄機購入予定だったが部品交換で対応出来たため未購入	
	合 計	100,945	100,000		
事業計画書に定める備品購入費の額		100,000	指定管理料に包含される備品購入費		0
差 額		945	備品購入費合計額		100,945
			差額(精算対象額)		100,945

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

施設利用状況

(別紙)

	利用区分等(単位)	令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	中央子育て支援センター	9,996	10,260	97.4%
	豊田子育て支援センター	5,323	4,614	115.4%
	(うち豊田一時預かり室 R7:482人、R6:290人)			0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	15,319	14,874	103.0%
施設 使用 回数 (回)	中央子育て支援センター	307	308	99.7%
	豊田子育て支援センター	480	453	106.0%
	(うち豊田一時預かり室 R7:240回、R6:216回)			0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用回数 合計	787	761	103.4%
施設 利用 料金 (円)	豊田一時預かり室	1,017,500	528,000	192.7%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用料金 合計	1,017,500	528,000	192.7%

3 事業の実施状況

区 分	評価内容	中央子育 て支援セン ター	豊田子育 て支援セン ター														区分得点
(1) 市民の 視点	① 施設の利用者数は前年に 比べて増加したか	5	7														37.0
	② 利用者意見の収集に努め、 ニーズに合わせたサービス向 上策を実施し、利用者の満足 度が向上したか。	7	10														
	③ 苦情・要望に対する回答は 迅速で、利用者への対応・接遇 が適切であったか	7	7														
	④ 利用者ニーズを把握し、設 置目的に合致した自主事業を 実施したか	7	10														
	⑤ 情報公開の規程を設け、情 報を適切に開示できる体制と なっているか	7	7														
(2) 財務の 視点	① 計画どおり収入が得られた か	3	5														19.0
	② 収入を増加するための取組 みがなされ、その効果があつた か	3	5														
	③ 管理運営経費を低減するた めの取組みがなされ、その効 果があつたか	3	3														
	④ 指定管理業務と自主事業の 経理区分が明確で適切に管理 されているか。	4	4														
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照 合し、適正な管理に努めたか。	4	4														
(3) 業務の 視点	① 施設の維持管理(保守・清 掃・設備等)業務の実施及び法 令を遵守したか。	3	3														38.0
	② 施設の管理運営に必要な研 修を仕様書に定めるとおり実施 したか。	4	4														
	③ 毎月・年度等の業務の報告 は、遅滞なく適切な内容であつ たか。	4	4														
	④ デジタル化への対応を行っ たか。	5	5														
	⑤ 市から改善指示がなかつ た。改善指示があつたときは、 速やかに対応したか。	5	5														
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連 絡網と危機管理マニュアルの 整備を行ったか。	4	4														
	⑦ 事件・事故は発生しなかつ た。事件・事故発生時の対応は 適切に対応したか。	4	4														
	⑧ 個人情報保護の責任者、保 管方法、漏えい時の対応方針 を整えたか。	4	4														
	⑨ SDGsを推進する取組を行っ たか。	5	5														
(4) 人材の 視点	① 基本協定書に定める責任者 (職員)を配置しているか。	4	4														16.0
	② 業務に必要な職員を適切な 場所に配置しているか。	4	4														
	③ 配置人員のミッションの理解 度とスキルの習得向上を目的 とした職員研修を行ったか。	4	4														
	④ 労働関係法令を遵守した か。	4	4														

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	くらしと文化部 文化スポーツ振興課		評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中野市民プール								
指定管理者	株式会社日本水泳振興会				指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)			
根拠法令	スポーツ基本法								
設置条例	中野市体育施設条例								
施設設置目的	市民体育の向上を図るため。								
施設概要	管理棟、50m競泳プール、流水プール、幼児プール、スライダー								
施設の主な実施事業	プール施設管理運営業務、指定管理者による自主事業(物販などのイベント)								
施設利用状況	利用区分等(単位)				令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)		比較(A)/(B)	
	プール利用者数(人)				12,291	11,289		108.9%	
	プール利用料収入(円)				1,396,900	1,252,800		111.5%	
								0.0%	
								0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	8,948,148		市収入額	1,396,900	
	項 目	予算額			決算額				
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支		
	指定管理業務	8,948,148	8,948,148	0	8,948,148	9,060,551	△ 112,403		
	自主事業	1,000,000	950,000	50,000	1,131,680	1,070,593	61,087		
	合 計	9,948,148	9,898,148	50,000	10,079,828	10,131,144	△ 51,316		
職員の配置状況	繁忙期 施設長1名、受付員2名、監視員8名 通常期 施設長1名、受付員2名、監視員6名								
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年6月27日	二回目	令和7年8月25日					

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
・猛暑の影響からか利用者が減少した。売店の営業時間を延長する等、利用者に寄り添った対応ができた。御社の経験とノウハウを活かし自主事業を充実させ利用者増を実現してほしい。	→	・天候にも恵まれ、利用者数は前年比で1,002人(9%)増となった。また、利用者からの苦情・改善等への要望にも的確に対応しており評価する。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ①流れるプールが楽しかった。 ②長い時間遊べて楽しかった。 ③ボールプールが温かくて癒された。 ④接客がよくアットホーム感がたっぷりでした。 ⑤スタッフが丁寧で親切でうれしかった。 ⑥100円で無制限は良すぎる。 ⑦多様なプールがあって楽しかった。 ⑧県外から来たが料金が安くて素晴らしい。	→	今後も利用者の方が、気持ちよく利用し、御帰宅できるよう、従業員の接客スキルの向上や、イベントを開催し楽しんでいただけるよう取り組む。
【苦情・改善の要望】 ①プールサイドが熱い。 ②使い方がなっていない家族がいたが、注意を促し対応した。 ③清掃してください。(蜘蛛の巣) ④スライダーの流れをもっと激しくしてほしい。 ⑤プール内のゴミ、虫が多く泳ぐのに抵抗がある。きれいにしたい。 ⑥男性スタッフの対応が最悪。女性スタッフはよかった。 ⑦あと1週間営業時間を伸ばして欲しい。	→	①プールサイドへのサンダル等の利用の案内を分かりやすく掲示した。 ②現認次第、即対応させていただく。 ③営業中も時間の許す限り清掃させていただく。 ④スライダーの水量については専門業者と協議する。 ⑤水中清掃等、定期的に実施します。 ⑥再度従業員の指導・教育を徹底する。 ⑦他プールも8/20前後の営業であり、他状況も踏まえ検討する。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		29
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	プールサイドの暑さ対策、噴水プールの設置	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	物品販売(水着・食品・ガチャ)、じゃんけん大会、ウォーターバルーン、噴水型ビニールプール、バルーンプール(流水プール)、カラーボールプール(幼児プール)を実施した。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	4	事業収入(売店収入、イベント収入)で13%同増となった。	20
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	じゃんけん大会、流水一周競争等イベントを開催し利用者増に努めた。利用者は楽しんでた。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	悪天候は利用者が少ないため、人員配置の調整を行った。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	明確で適切に管理されている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	適正に管理されている。	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		32
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3	研修計画に基づき、業務・安全管理研修、接客マナー研修及び防犯・防災訓練を実施した。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	自主事業の支払いのPaypay導入し、従業員の勤怠管理をすべてデジタル化した。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	市からの改善指示はなかった。運営状況は適切であった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	4	職員への周知を徹底した。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	3		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	市主催する研修会に参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				50
				25
				45
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	29 (50)	・利用者数は前年度比1,002人(9%)増となった。 ・プールサイドの暑さ対策、利用者からの要望への即時対応及び利用者のニーズに沿った事業の実施を評価する。更なる集客アップのため営業時間の延長(変更)も検討してみてはどうか。 ・指定管理業務運営にあたり、人件費を含めた物価高騰が続き、厳しい面はあるが、御社の経験とノウハウを活かした収益増につながる自主事業も計画していただきたい。
(2) 財務の視点	20 (25)	
(3) 業務の視点	32 (45)	
(4) 人材の視点	13 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に修繕した理由を記入	
	流水プールグランドパッキン	104,500	150,000		
	シャワー・上水道蛇口吐出	32,000	20,000		
	ベンチ	50,772	50,000		
	コンプレッサー	25,840	25,000		
	スライダー滑走面補修	19,520	30,000		
	流水プール配管漏水	24,254	0	緊急修繕のため	
	スライダー階段塗装	39,854	25,000		
	合 計	296,740	300,000		
事業計画書に定める修繕費の額		300,000	指定管理料に包含される修繕費		300,000
差 額		△ 3,260	修繕費合計額		296,740
			差額(精算対象額)		△ 3,260

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	トランシーバー	55,000	0	故障のため購入(3台)	
	ノートパソコン	38,000	0	職員勤怠管理打刻用として購入(1台)	
	合 計	93,000	0		
事業計画書に定める備品購入費の額		0	指定管理料に包含される備品購入費		0
差 額		93,000	備品購入費合計額		93,000
			差額(精算対象額)		93,000

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	熱中症対策のための備品購入費を検討したい。
--------------------------	-----------------------

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	くらしと文化部 文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中野市営野球場ほか14施設						
指定管理者	中野市体育協会		指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)			
根拠法令	スポーツ基本法						
設置条例	中野市体育施設条例、中野市B&G海洋センター条例						
施設設置目的	市民体育の向上を図るため。						
施設概要	中野市営野球場:競技面積12,200㎡、中野市営運動場:競技面積 9,545㎡、中野市民体育館:鉄筋コンクリート造2階建競技面積1,728㎡、中野市武道館:柔道場14m×13m 剣道場14m×23m、中野市営テニスコート:砂入人工芝コート8面、中野市弓道場:建築面積 523㎡、中野市篠井川河川敷運動広場:競技面積 4,500㎡、中野市コミュニティスポーツセンター:アリーナ・多目的ルーム・トレーニングルーム、中野市屋内運動場:建築面積 820.88㎡、中野市営豊田テニスコート:競技面積2,280㎡、中野市営豊田野球場:競技面積15,220㎡、中野市営豊田マレットゴルフ場:競技面積1,800㎡、中野市永田社会体育運動場:競技面積 4,008㎡、中野市B&G海洋センター:鉄筋コンクリート2階建 競技面積 1,453㎡、中野市北公園:公園面積7ha						
施設の主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	別紙のとおり					0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	63,000,000	市収入額	10,224,551
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	63,109,000	68,146,000	△ 5,037,000	63,621,231	64,423,654	△ 802,423
	自主事業	190,000	190,000	0	435,673	293,429	142,244
	合 計	63,299,000	68,336,000	△ 5,037,000	64,056,904	64,717,083	△ 660,179
職員の配置状況	事務局長:1名、事務局次長1名:事務員:5名、作業主任1名《うち兼務2名》合計8名 (常勤3名、非常勤5名)						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年6月3日	二回目	令和8年2月10日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
自主事業が未実施の施設が見受けられることから、利用者ニーズを把握のうえ、実施に努めていただきたい。	→	市民体育館での無料開放事業(参加者1,313人)、中野弓道場での初心者教室(28回・330人)B&G海洋センターSUP教室(1回・25人)が実績。ほか施設での開催を検討されたい。
R5と比較し、施設利用者数は5.6%増、施設使用回数が16%増であるものの、施設利用料金の収入が4.5%減である。自主事業の展開が難しいのであれば、事務の効率化や人員の見直し等による増収に努めていただきたい。	→	施設利用者数は4.5%増に伴い、施設利用料金の収入が5.4%伸びた。
各施設において、利用(予約)のない時間帯を利用してもらうための取り組みを行いたい。	→	市民体育館での無料開放事業(参加者1,313人)のみであり、改善を図られたい。
備品の管理は、備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	→	適正な備品管理に努めた。
紙媒体のアンケート用紙にオンライン回答用のQRコードを記載するなど、回答者への利便性にも配慮したい。	→	改善を図り実施した。

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 アンケート調査は定期利用の61団体(回答34) アンケート結果 A:満足、B:やや満足、C:普通、D:やや不満、E:不満 ・予約受付等利用しやすさ A50%、B24%、C14%、D12%、E0% ・施設の清潔さ A44%、B21%、C20%、D12%、E3% ・スタッフの対応 A71%、B6%、C23%、D3%、E0% ・全体的な満足度 A62%、B12%、C23%、D3%、E0%	→	・予約受付等についてはおおむね良好の評価をいただいております、今後も評価継続に努めたい。 ・スタッフの対応については丁寧との評価をいただいております、また清掃も行き届いていると回答があり、引き続き利用しやすいよう努めたい。
【苦情・改善の要望】 ・駐車場の利用しやすさ A15%、B21%、C38%、D18%、E8% ・体育施設・設備の状況 A32%、B24%、C15%、D23%、E6%	→	・駐車場の足り不足。 ・駐車場の白線が消えかかっており、駐車し難いとの苦情があったことから、白線を引き直し改善を図った。 ・施設の改善要望は、改善可能なものは対応するが、多額の費用がかかるものは、市と協議する。 ・利便性を図るため、北公園一帯の整備を行い、環境整備に努めた。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	施設の利用者数(4.5%増)は増加している。	22.3
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり	自主事業を実施していな施設がある。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり	全体としては、施設の利用者数(4.5%増)が伸びたことから、収入(5.4%増)にも影響した。一部施設で大幅に収入が減少している。	13.2
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり	自主事業への取り組みが消極的である。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり	一部施設の緊急修繕時に適切な対応がなされなく、経費低減に影響が及んだ。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり	適正な管理がされていない。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり	一部施設の緊急修繕時に適切な対応がなされなかった。	25.6
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり	3施設(市民体育館、弓道場、篠井川河川敷運動場)で利用者数の報告に誤りがあった。市からの指摘で判明した。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり	実施に消極的であり、取り組む姿勢が見られない。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり	一部施設の緊急修繕時に、市から指示はしたものの適切な対応がなされなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		12.1
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり	一部施設の環境整備は最小限のコストで整備されているものの、施設全体としては、適正な人員配置とは言い難い。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり	市主催する研修会に参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1)-① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	2つの施設利用者数が大幅に減少した。特に市営テニスコートは、利用者数、使用回数ともに大幅に減少しており、自主事業の実施等による改善を図りたい。
(1)-④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	自主事業が未実施の施設が見受けられることから、利用者ニーズを把握のうえ、実施に努めていただきたい。
(2)-① 計画どおり収入が得られたか	4つの施設で10%以上計画を下回った。コミュニティスポーツセンターの収入減(224,510円減)については、自主事業を展開するなど改善を図りたい。
(2)-② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	引き続き、各施設において、利用(予約)のない時間帯を利用してもらうための取組み等を行いたい。
(2)-③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	一部施設の緊急修繕対応時に、市から指示はしたものの、適切な対応がされなく、改善を図りたい。
(2)-⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	適正な備品の管理に努めていただきたい。
(3)-① 施設の維持管理(掃・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	一部施設の緊急修繕時に適切な対応がなされていなかった。改善を図りたい。
(3)-③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅延なく適切な内容であったか	毎月の報告は遅延なく行われたものの、年度報告書の一部施設の利用者数に誤りがあった。市からの指摘によって誤りが確認されたことから改善を図りたい。
(3)-④ デジタル化への対応を行ったか	紙媒体のアンケート用紙にオンライン回答用のQRコードを記載するなど、回答者への利便性にも配慮をしたい。
(3)-⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	一部施設の緊急修繕対応時に、市から指示はしたものの、適切な対応がされなく、改善を図りたい。
(4)-② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	一部施設的环境は最小限のコストで整備されているものの、施設全体としては、適正な人員配置とは言い難い。特に平日利用者の少ない時間帯の人員を抑制し、夜間や休日の利用者が多い時間帯へ人員を配置するなど、改善を図るべきである。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	22.3 (50)	施設利用者数は4.5%増となり、施設利用料金収入も5.4%伸びた。 第3次スポーツ推進計画の基本目標である「スポーツ施設利用人数 令和10年目標200,000人に向け、昨年も所見としたが、各体育施設年1回以上の自主事業を実施したい。
(2) 財務の視点	13.2 (25)	
(3) 業務の視点	25.6 (45)	
(4) 人材の視点	12.1 (20)	
年度評価	B-	
要改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	屋内運動場ネット修繕	144,980		経年劣化に伴う補修
	北公園遊具修繕	495,000		施設点検業務に伴う指摘事項としての部品取替え及び補修
	B&G海洋センタートイレ補修	206,800		手洗い場下地補修及びモルタル補修
	コミュニティスポーツセンター2階軒天修繕	232,100		経年劣化に伴う補修
	武道館雨漏れ修繕	330,000		経年劣化に伴う補修
	市営野球場散水栓装置修繕	458,700		散水栓装置不良につき部品取替え
	その他60件	4,237,520		
	合 計	6,105,100	0	
事業計画書に定める修繕費の額		6,500,000	指定管理料に含まれる修繕費	3,000,000
差 額		△ 394,900	修繕費合計額	6,105,100
			差額(精算対象額)	3,105,100

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	歩行型芝刈り機	112,000		経年劣化により修理不能なため更新
	背負い式クリーナー	98,956		故障により部品が取り寄せ不能なため買い替え
	背負い式動噴	75,000		故障により部品が取り寄せ不能なため買い替え
	卓球台1台	151,030		経年劣化による更新
	汚水ポンプ他	129,800		経年劣化による更新
	合 計	566,786	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		400,000	指定管理料に含まれる備品購入費	200,000
差 額		166,786	備品購入費合計額	566,786
			差額(精算対象額)	366,786

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	市と協議し、予算の範囲内で必要な対応とする。
----------------------	------------------------

施設利用状況

(別紙)

	利用区分等(単位)	令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	市営野球場	15,858	15,989	99.2%
	市営運動場	14,390	14,361	100.2%
	市民体育館	30,332	26,073	116.3%
	市武道場	10,951	10,262	106.7%
	市営テニスコート	10,458	11,912	87.8%
	市弓道場	3,590	3,041	118.1%
	市篠井川河川敷運動場	471	377	124.9%
	市コミュニティスポーツセンター	24,581	23,392	105.1%
	市屋内運動場	7,152	6,980	102.5%
	市営豊田テニスコート	233	145	160.7%
	市営豊田野球場	6,192	6,864	90.2%
	市営豊田マレットゴルフ場	121	246	49.2%
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%
	市B&G海洋センター	11,798	10,615	111.1%
	北公園	—	—	0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	136,127	130,257	104.5%
施設 使用 回数 (回)	市営野球場	283	293	96.6%
	市営運動場	289	245	118.0%
	市民体育館	657	582	112.9%
	市武道館	507	533	95.1%
	市営テニスコート	1,493	2,969	50.3%
	市弓道場	829	735	112.8%
	市篠井川河川敷運動広場	23	14	164.3%
	市コミュニティスポーツセンター	1,573	2,003	78.5%
	市屋内運動場	407	348	117.0%
	市営豊田テニスコート	84	62	135.5%
	市営豊田野球場	136	141	96.5%
	市営豊田マレットゴルフ場	15	30	50.0%
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%
	市B&G海洋センター	2,282	1,137	200.7%
	北公園	—	—	0.0%
				0.0%
	施設利用回数 合計	8,578	9,092	94.3%
施設 利用 料金 (円)	市営野球場	1,763,005	1,882,125	93.7%
	市営運動場	803,300	806,400	99.6%
	市民体育館	1,962,915	1,196,465	164.1%
	市武道館	624,700	634,820	98.4%
	市営テニスコート	1,481,520	1,540,660	96.2%
	市弓道場	240,970	126,575	190.4%
	市篠井川河川敷運動広場	3,850	1,760	218.8%
	市コミュニティスポーツセンター	1,737,925	1,962,435	88.6%
	市屋内運動場	767,380	618,900	124.0%
	市営豊田テニスコート	38,210	48,300	79.1%
	市営豊田野球場	46,200	104,700	44.1%
	市営豊田マレットゴルフ場	2,900	3,750	77.3%
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%
	市B&G海洋センター	751,676	773,264	97.2%
	北公園	—	—	0.0%
				0.0%
	施設利用料金 合計	10,224,551	9,700,154	105.4%

3 事業の実施状況

区 分	評価内容	市営野球場	市営運動場	市民体育館	市武道館	市営テニス場	市弓道場	市篠井川河川敷運動広場	市コミュニティスポーツセンター	市屋内運動場	市営豊田テニス場	市営豊田野球場	市営豊田マレットゴルフ場	市永田社会体育運動場	市B&G海洋センター	北公園	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	5	7	5	2	5	7	5	5	10	5	1	5	7	5	22.3
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	1	1	1	5	1	5	1	1	1	1	1	1	5	5	1	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3	3	5	3	3	5	5	2	5	2	1	2	3	3	3	13.2
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	3	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	25.6
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3	3	2	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	12.1
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	くらしと文化部 文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中野市多目的サッカー場						
指定管理者	株式会社穀藤		指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日(5年間)			
根拠法令	スポーツ基本法						
設置条例	中野市体育施設条例						
施設設置目的	市民体育の向上を図るため。						
施設概要	管理棟37.2㎡、敷地面積19,162㎡						
施設の主な実施事業	貸出事業、指定管理者による自主事業(イベントや自販機設置等)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	多目的サッカー場利用者数(人)			23,958	36,111	66.3%	
	多目的サッカー場利用回数(回)			611	826	74.0%	
	多目的サッカー場利用料金(円)			631,700	750,500	84.2%	
	(※10～2月まで芝張替え照明工事にて利用なし)					0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	6,000,000	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	6,760,000	6,760,000	0	6,631,700	6,265,295	366,405
	自主事業	700,000	500,000	200,000	937,927	568,277	369,650
	合 計	7,460,000	7,260,000	200,000	7,569,627	6,833,572	736,055
職員の配置状況	施設長(防火管理者)1名 作業員2名(パート含) 計3名						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年11月8日	二回目	令和8年3月3日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・施設利用のデジタル化に伴い、利用後の報告時にアンケートを随時頂いている。 ・デジタル化に伴い、施設利用に伴う鍵の開閉作業や利用報告などスムーズとなり、利便性が向上したといった利用者からの声が多かった。 ・施設の芝の全面張替え、照明のLED化により、より快適なフィールドとして利用者からの声を頂いている。また安全面も向上したとの声も頂いた。	→	・予約受付や利用方法にはおおむね良好の評価をいただいております、引き続き改善に努めたい。 ・スタッフの対応については親切・丁寧と多くの評価をいただいております、引き続き向上するよう努めたい。
【苦情・改善の要望】 ・冬季間の利用をお願いしたいとの要望を頂いた。	→	・12月～2月の間は冬季閉鎖。 現状12月の降雪前まで許可しているが、その後はグランドコンディション維持のため使用を許可していないが、冬期間の利用に関しては今後検討していきたい。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	人工芝の張替え、照明工事の影響で、昨年度比66.3%であったが、月ごとの前年度比は利用者の減少はしていない。	39
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	10	アンケートは利用者の利用報告時に随時いただいており、予約方法や支払、鍵の管理の簡素化による使い易さに高評価な意見が多かった。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	特筆すべき苦情は無かった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	10	事業計画のとおり、毎月2回の健康教室に加え、また、計画外の事業ではウォークフェス信州なかのを実施し、200名を超える参加者が来場した。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	7	自社HPIに、情報公開関係の記載があり、情報公開に対し積極的な姿勢がみられる。	
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		20
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	健康教室の運営やウォーキングイベントの実施により、収入の増加のための取組を行った。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	減免利用者と協働で、ネット張り等をおこなったことで、アウトソーシングの回数を削減したことで、予算に対する委託経費の大幅な減額を実現している。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	5	税理士の指導、会計監査の指導を受けながら、経理を行っている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	台帳を整備のうえ適正に管理しており、紛失や破損等は発生していない。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		36
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	5	LINEを使った受付システムを市と協働で導入し、申請許可、料金収受の脱アナログと、防犯カメラの設置による施設運営を取り入れた。また、施設の公式Instagramを開設し、情報の発信を行った。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	改善指示はなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	無人化へ移行となり、セキュリティ面の心配があったが、事件や事故は起きなかった。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件や事故などは発生しなかった。警備会社の表示をしたことで、故意的な事件の抑止となったと考える。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	4	弊社の個人情報保護規程に、施設管理を想定した規定を追加した。また、職員に対し個人情報保護研修を実施した。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	5	実質再生可能エネルギー100%の電気を導入した。また、サッカー場を利用して誰でも参加ができるイベントを開催し、全市民に目を向けている様子が見られる。(2:すべての人に健康と福祉を)(7:エネルギーをみんなにそしてクリーンに)	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		16
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	5	通常の、施設の維持管理のみでなく、機械メンテナンスの専門的な知識を要する職員を配置したことで、適正な業務と効率化、経費の削減を実現した。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	5	市が主催する研修会に参加し、制度への理解度を深めた。また、長野Uスタジアムへ視察に行き研究を行うなど、積極的な姿勢が見られた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	39 (50)	・指定管理者として1年目の運営であったが、積極的な自主事業の取り組みを行えた。また、市と協同し、デジタル化(LINE予約・スマートロック)による利用者の利便性を大きく向上させたことは、評価ができる。 ・人工芝の張替えや、照明のLED化工事により開場日数が限られてしまい、利用者数は減少となったが、次年度は更に自主事業を展開し、利用者の増に繋がるよう期待する。 ・毎年、要望をいただいている冬の期間の開場について、積極的な検討を進めてほしい。
(2) 財務の視点	20 (25)	
(3) 業務の視点	36 (45)	
(4) 人材の視点	16 (20)	
年度評価	A	
優 良		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入	
	ゴールネット修繕	93,720	0	計画外の破損のため	
	サッカー場外柵ネット修繕	34,500	0	計画外の破損のため	
	草刈機修繕	24,500	0	計画外の破損のため	
	車両修繕	86,000	0	計画外の破損のため	
	合 計	238,720	0		
事業計画書に定める修繕費の額		200,000	指定管理料に含まれる修繕費		200,000
差 額		38,720	修繕費合計額		238,720
			差額(精算対象額)		38,720

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	フラッグポール	18,392	0	突発的な破損のため	
	テントウエイト	55,572	0	突発的な破損のため	
	フレーム結束バンド	3,069	0	突発的な破損のため	
	草刈機購入	167,000	0	突発的な破損のため	
	合 計	244,033	0		
事業計画書に定める備品購入費の額		100,000	指定管理料に含まれる備品購入費		100,000
差 額		144,033	備品購入費合計額		244,033
			差額(精算対象額)		144,033

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	くらしと文化部 文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中山晋平記念館及び高野辰之記念館						
指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社長野営業所		指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日(5年間)			
根拠法令							
設置条例	中野市中山晋平記念館条例、中野市中山晋平記念館管理規則、中野市高野辰之記念館条例、中野市高野辰之記念館管理規則						
施設設置目的	「中山晋平・高野辰之」とそのゆかりの先人の方々を顕彰し、地域住民の皆様や中野市、各関係団体との連携を密にし、この「中山晋平・高野辰之記念館」が観光の振興及び豊かな地域社会の形成に寄与する場所にするため。						
施設概要	記念館、休憩所、屋外トイレ、物置						
施設の主な実施事業	資料の収集、保管及び展示、展示資料の観覧許可、自主事業コンサート、記念館まつり等						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	施設利用者数(人)			10,745	12,580	85.4%	
	施設利用料金(円)			2,145,340	2,518,130	85.2%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	22,438,900	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	25,176,393	25,176,393	0	24,584,240	24,584,240	0
	自主事業	1,700,000	1,700,000	0	1,441,208	1,795,253	△ 354,045
	合 計	26,876,393	26,876,393	0	26,025,448	26,379,493	△ 354,045
職員の配置状況	中山晋平記念館 館長1名、常勤2名、アルバイト2名 計5名 高野辰之記念館 副館長1名、常勤2名、アルバイト2名 計5名						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年6月2日	二回目	令和7年12月5日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・設備が清潔だった。・接客が良かった。 ・設備が整っていた。・接客がとても良かった。 ・実際にピアノ・オルガンでの伴奏と一緒に歌えて楽しかった。 ・立地条件が日本のふるさとの様な所で良い。 ・丁寧な説明で楽しむ事が出来た。 ・手動蓄音機が動いたのに驚き、初めて生音を聞き感激し、知っている曲もあり想像以上に楽しかった。	→	両記念館共に継続しておもてなし精神でサービス提供していきたい。
【苦情・改善の要望】 苦情・改善の要望は有りませんでした。	→	

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	休館日の変更により観光客の減少してしましたが、無料イベントの利用者を含めると前年度を超えていた。	33.0
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり	利用者アンケート調査を行い意見やニーズの収集を行い、ソフトドリンク販売やお土産物の充実(アルコール飲料含む)を行った。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり	苦情はなく、要望に対しては出来る事は迅速に対応していた。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり	設置目的に沿ったコンサートやイベントを実施していた。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり	指定管理者の規定及び市の規定に準じて実施しており、職員にも周知していた。	50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり		19.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり	中野市の酒蔵の日本酒販売を開始し、お土産物の拡充にて売上増につながっていた。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり	配布パンフレット等の見直しや手作り化等による経費削減を行い、大幅削減につながっていた。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり	自主事業としてイベントやお土産販売、ドリンク販売、指定管理業務として建物等の保守管理、接客業務と明確に分けていた。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり	備品管理は、市に準拠し適正に管理していた。	25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり	保守・清掃・設備は基本協定書通り管理しており、施設看板等の修繕も試みていた。	35
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり	遅延はなく期日までに提出されていた。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり	閲覧しやすい施設専用ホームページを立ち上げており、書類提出や市との調整等も電子メールで対応できる仕様である。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり	改善指示はなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり	毎年、個人情報保護研修を全社員に行い指導を行っていた。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり	毎日の天候を把握し、管内の温度調整を実施している。	45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり	市が主催する研修会へ参加し、制度への理解を深めていた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1)-① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	休館日を変更した影響もあるが、自主事業も含め旅行観光業者へのPRも含めて検討してもらうよう指導した。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	33.0 (50)	事務全体は市に準用した事務となっており、適切に実施していた。 経費削減に努め、苦情等もなく、良好な運営をしており、自主事業についても今後の収入に結び付くアイデアを取り入れて実施していた。
(2) 財務の視点	19.0 (25)	
(3) 業務の視点	35.0 (45)	
(4) 人材の視点	13.0 (20)	
年度評価	B+	
良 好		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に修繕した理由を記入	
	中山コンセント取付工事	6,467	0	破損のため	
	中山防火設備部品交換	24,000	0	破損のため	
	中山カリオン調整部品交換	170,000	0	破損のため	
	中山ガラス修繕	12,680	0	破損のため	
	ピアノ・オルガン保守調律部品交換	189,000	0	破損のため	
	中山女子トイレ修理代	6,800	0	破損のため	
	支障木伐採工事	96,000	0	維持管理のため	
	合 計	504,947	0		
事業計画書に定める修繕費の額		500,000	指定管理料に包含される修繕費		0
差 額		4,947	修繕費合計額		504,947
			差額(精算対象額)		504,947

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	合 計	0	0		
事業計画書に定める備品購入費の額		50,000	指定管理料に包含される備品購入費		0
差 額		△ 50,000	備品購入費合計額		0
			差額(精算対象額)		0

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

施設利用状況

(別紙)

	利用区分等(単位)	令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	中山晋平記念館	6,754	7,638	88.4%
	高野辰之記念館	3,991	4,942	80.8%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	10,745	12,580	85.4%
施設 使用 回数 (回)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用回数 合計	0	0	0.0%
施設 利用 料金 (円)	中山晋平記念館	1,340,090	1,614,600	83.0%
	高野辰之記念館	805,250	903,530	89.1%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用料金 合計	2,145,340	2,518,130	85.2%

3 事業の実施状況

区 分	評価内容	中山晋平記念館	高野辰之記念館														区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	2	2														33.0
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	7														
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	10	10														
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	7														
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	7	7														
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3	3														19.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	4														
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	4														
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	4	4														
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	4	4														
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	4	4														35.0
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3														
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	4	4														
	④ デジタル化への対応を行ったか。	4	4														
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	5	5														
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3														
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	4	4														
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	4	4														
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	4	4														
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3														13.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3														
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	4	4														
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3														

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	くらしと文化部 文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和7年度
施設名称	中野市市民会館(ソソラホール)						
指定管理者	株式会社岩野商会			指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日(5年間)		
根拠法令							
設置条例	中野市市民会館条例、中野市市民会館条例施行規則						
施設設置目的	市民の福祉増進と文化の向上を図るため、市民会館を設置する。						
施設概要	大ホール(定員781人)、小ホール(定員176人)、楽屋4室、会費室3室、スタジオ、リハーサル室、駐車場						
施設の主な実施事業	貸館事業、自主事業(文化事業、健康増進事業、会場装飾事業)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	会館利用者数			47,764	50,514	94.6%	
	会館利用回数			1,252	1,486	84.3%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	58,443,000	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	61,743,000	60,486,592	1,256,408	61,528,590	60,311,271	1,217,319
	自主事業	2,570,000	3,400,000	△ 830,000	3,004,000	4,219,430	△ 1,215,430
合 計	64,313,000	63,886,592	426,408	64,532,590	64,530,701	1,889	
職員の配置状況	館長1名、事務員3名、合計4名 (常勤2名、非常勤2名)						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年6月2日	二回目	令和7年12月5日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・自主事業でダンスを組み込んだフレイル予防事業が好評	→	・好評につき、次年度継続事業とします。
【苦情・改善の要望】 ・会議室で飲食禁止は不便である。(多数) ・エアコン代が高い。 ・小ホールの椅子が足りない。追加料金は納得がいかない。 ・有名アーティストのコンサートを年2回は開催してほしい。 ・市民の使用料は減免してほしい。 ・電話にすぐに出ない。(2件)	→	・利用規則によりご理解をいただくよう努めています。 ・要望事項は今後の運営で可能なもの検討します。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	年間利用者目標(44,000人) 令和7年度実績(47,764人)	15
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	2	利用者アンケートの実施時期が大幅に遅れて実施した。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	1	苦情・要望に対する回答は遅く、利用者の苦情等が多かった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	2	情報公開の規程等の周知が職員間で統率が取れていなかった。	
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		15
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	ホール内外の清掃が迅速に丁寧に行われていた。また、設備等について使用しやすいよう維持管理されていた。	24
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	1	数か月遅れの報告が複数あった。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	3		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	1	市から業務改善指示をしたが、迅速な対応が取れていなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	3		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	市が主催する研修会へ参加し、制度への理解を深めていた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1)-② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	常時意見集約を集約できる体制を整え、意見に対しての改善等について市と協議しながら改善策を検討し、改善していく。
(1)-③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	対応・接遇に関する研修を実施する。
(1)-⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	社内規定の再周知及び市の規定資料配布により体制を整えていく。
(3)-③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	事務担当者等へ再度締切日等を周知していく。
(3)-⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	改善指示について、期限を決めて改善してもらうようにする。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	15 (50)	・利用者からの苦情等が多く、市からも対応策を求めたが改善されないものがあった。 ・必要に応じマニュアルを作成し、職員間の共通認識を図り、対応されたい。 ・収入・支出に関する数値の把握を徹底し、会計業務の向上に努めていただきたい。
(2) 財務の視点	15 (25)	
(3) 業務の視点	24 (45)	
(4) 人材の視点	13 (20)	
年度評価	C	
不良		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	バスドラムヘッド張替え	34,565	0	破損
	電話機修繕	128,920	0	故障による。
	事務室建具修繕	132,000	0	故障による。
	スポットライト修繕	200,000	0	故障による。
	合 計	495,485	0	
事業計画書に定める修繕費の額		500,000	指定管理料に包含される修繕費	500,000
差 額		△ 4,515	修繕費合計額	495,485
			差額(精算対象額)	△ 4,515

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	掃除機(バッテリー・充電器含む)	163,700	0	清掃用具の不足
	舞台用花台	71,500	0	舞台備品の不足
	長机運搬用カート	521,400	0	利用者の利便性向上、業務効率化
	除雪機(390cc,幅71cm)	400,000	500,000	出入口除雪用
	合 計	1,156,600	500,000	
事業計画書に定める備品購入費の額		500,000	指定管理料に包含される備品購入費	50,000
差 額		656,600	備品購入費合計額	1,156,600
			差額(精算対象額)	1,106,600

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	施設が新しいため修繕費は想定より少ないが、不足品が多いため、備品購入費が膨らんでいる。
----------------------	---

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	経済部 農業振興課	評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中野市農村環境改善センター帯の瀬ハイツ						
指定管理者	公益社団法人中野広域シルバー人材センター		指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)			
根拠法令							
設置条例	中野市農村環境改善センター条例						
施設設置目的	農業に従事する者並びに市民の相互理解と連携を図り地域農業や市民生活の向上に資するため。						
施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室、多目的ホール						
施設の主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業(帯の瀬の日、売店設置、健康教室、開放市民の日、絵付け体験、キムチづくり講座、花火観賞会)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	施設利用状況(延人数)			9,647	6,915	139.5%	
	施設利用日数(日)			275	275	100.0%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	11,031,000	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	11,172,611	11,151,000	21,611	11,211,296	11,211,296	0
	自主事業	134,275	131,000	3,275	125,895	132,009	△ 6,114
	合 計	11,306,886	11,282,000	24,886	11,337,191	11,343,305	△ 6,114
職員の配置状況	館長(兼務)1名、主任1名、就業会員3名 合計5名						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年5月23日	二回目	令和7年10月8日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
市から依頼されていたアンケートの電子化について、QRコード印字も含め、今年度早急に対応実施します。	→	紙で管理していた資料を電子化しクラウド上で管理できるようにした。アンケートのQRコード化はできなかった。
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 その他施設の清掃状態について「とても満足」の回答が48%だったこと。さらに、アンケートの意見でその他施設の清掃状態について「やや不満」「とても不満」と答えた人がいなかった。	→	引き続き施設の清掃状態を保ち管理する。
【苦情・改善の要望】 体力づくりや足腰を動かす軽運動の希望があった。	→	次年度において健康教室(ヨガ療法)を開催します。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	条例で定める特認事項への取組(放課後児童クラブの機能提供)を行い、利用者の増加につなげた点が評価される。	30
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	一部備付け物品に不備があるものの、職員の資質向上や施設の環境を整えることにより、概ね利用者の満足は得られたと判断できる。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5	利用者の意見を直接聞くと共に、アンケートを常設し、対応可能なものは即実施した。アンケートにも見られるように、利用者への対応・接遇は好評と判断される。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5	すべての年齢層に対し利用啓発を図りながら、健康教室、土人形絵付け体験、高齢利用者のための売店や農業にかかわる農産物を利用した料理教室を実施した。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5	市の条例等のほか、管理運営に関する基本協定書により開示できる体制となっている。	
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	自主事業決算書を作成し、一般管理費と明確に区分した。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	中野市所有備品と中野広域シルバー人材センター備品を区別し、定期的に整備・調整を実施した。不用品を整理する取組を行った。	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	消防設備点検、ボイラー保守点検、地下タンク気密試験、大腸菌群・レジオネラ菌浴槽水検査などの法定点検を専門業者に委託した。また自主的な地下タンク漏えい検査など各種法令に基づき実施した。	32
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	4	協定書に定める毎月の業務状況報告は翌月の10日以内に報告し、年度事業報告は事業年度終了後30日以内に報告した。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	2	紙で管理していた資料を電子化しクラウド上で管理できるよう、機器の整備を行ったが、すべてにわたってデジタル化には至っていない。アンケートのデジタル化ができていない。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	2	指示・指摘事項(アンケートのQRコード導入)については対応できていない。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	岳南危険物・安全協会に出席し、防災・防火のために消防計画、避難確保計画を見直しすると共に災害対応マニュアル並びに緊急連絡網の整備を行った。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	主な利用者が高齢者であるため、些細なことが原因で事故につながることを理解し、管理運営を行ったことから事件・事故は発生していない。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	4	公社)中野広域シルバー人材センター個人情報保護に関する規定により整備されている。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	5	照明冷暖房等エネルギー使用の適宜に行うと共に、節電への協力を表示し、節電に努めたほか、デジタル化推進に当たりペーパーレスの取り組みを行った。生涯学習の機会を促進する観点で、放課後児童クラブの児童の居場所の提供をした。	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		14
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	5	会員の所属する地域の委員会又は班会議において会員スキルの向上を目指したほか、毎月の業務の状況を確認、反省し合い職員同士の研修を行った。市が主催する研修に参加し研鑽した。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(3)-(4) デジタル化への対応を行ったか	アンケートのデジタル化に取り組むよう指導する。
(3)-(5) 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	市からの改善指示に対し、改善までに年月が過ぎないように、速やかに対応するよう指導する。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	30 (50)	条例で定める特認事項への取組(放課後児童クラブの機能提供)を行い、利用者の増加につなげた点が評価される。 中野市所有備品と中野広域シルバー人材センター備品を区別し、定期的に整備・調整を実施し、不用品を整理する取組を行ったことを評価する。 2年前から改善指導しているアンケートのQRコード化ができていないので、改めて実施を指導する。
(2) 財務の視点	17 (25)	
(3) 業務の視点	32 (45)	
(4) 人材の視点	14 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に修繕した理由を記入
	玄関下駄箱周辺手すり設置工事	58,300	0	利用者の安全確保のため
	ブラインド昇降修繕工事	31,900	0	施設の安全管理のため
	暖房用ボイラー修繕工事	45,320	0	配管の腐食による水(温水)漏れ修繕
	除雪機点検整備代	42,895	0	除雪前の整備
	生活研修室天井隙間改修工事	118,140	0	施設の安全管理のため
	給湯一次循環ポンプ水漏れ修繕工事	42,900	0	メカニカルシール(ポンプ部品)腐食による水(温水)漏れ修繕
	火災通報装置修繕	8,250	0	施設の安全管理のため
	合 計	347,705	0	
事業計画書に定める修繕費の額		300,000	指定管理料に含まれる修繕費	300,000
差 額		47,705	修繕費合計額	347,705
			差額(精算対象額)	47,705

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支出額	計画額	計画外に備品を購入した理由を記入
	全自動洗濯機	74,000	0	施設の管理のため
	ガス湯沸器	43,890	0	施設の管理のため
	合 計	117,890	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		60,000	指定管理料に含まれる備品購入費	0
差 額		57,890	備品購入費合計額	117,890
			差額(精算対象額)	117,890

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	○日々の施設管理については、偶発的な事故や老朽による破損等が生じる場合があり、その都度修繕等に対応している。 ○各種研修会や会議、懇談会など新規自主事業に対応したり、利用者アンケートに応え、修繕や改良を実施した。
----------------------	---

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	経済部 農業振興課	評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中野市豊田農産物加工施設						
指定管理者	中野市豊田農産物加工施設利用組合			指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日(5年間)		
根拠法令							
設置条例	中野市豊田農産物加工施設条例						
施設設置目的	地域農業振興の向上に寄与することを目的として、農産物加工施設を設置する。						
施設概要	加工室、研修室、材料搬入室、材料庫、熟成室						
施設の主な実施事業	おやき、アップルパイ、惣菜等加工品の製造販売、体験受け入れ						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	利用者数(おやき部・菓子・惣菜)			2,111	2,124	99.4%	
	(うち味噌作り等体験受入者数)			134	57	235.1%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	800,000	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	802,000	802,000	0	806,500	762,538	43,962
	自主事業	12,939,890	12,927,000	12,890	12,998,197	13,094,751	△ 96,554
	合 計	13,741,890	13,729,000	12,890	13,804,697	13,857,289	△ 52,592
職員の配置状況	組合長1名、副組合長2名(うち1名会計兼務)、理事9名(うち3名兼務)、監事2名						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年4月21日	二回目	令和7年11月28日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
施設の利用者数は前年と比べて増加したか。 ……視察先での取り組みなどを学び、組合員が減少している中でも稼働率をあげる工夫を実施してほしい。	→	・アップルパイ用の煮りんご作業時は、日にちや時間を決めて全員で作業し、作業能率をあげた。 ・現在、加工施設の営業日は、火、木、金、土曜日の週4日間。ただし、イベントや注文により上記の曜日以外にも対応。特に冬には「手前味噌作り体験」を日曜日、祭日を利用して受け入れています。施設を有効に稼働させた。 ・おやき作業、パイ作業、惣菜作業と別れて作業しても、各作業が終わり次第間に合わない作業を進んで行い、作業能率をあげた。 ・商品の納品も同一方向にまとめて納品することにより、燃料や人件費の 節約に努めた。

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 味噌作り体験時にアンケート実施参加者全員が「満足」と回答	→	引き続き、満足度向上のため、味噌づくり体験に取り組みます。
【苦情・改善の要望】 味噌作り体験以外の希望があった。	→	次年度以降、味噌作り体験時に「おやき作りかアップルパイ作り」を取り入れたい。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者は前年に比べて増加したか	5	自主事業販売先の工事に伴い、活動日数の減少に伴うもの	31
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	独自イベントの実施により、「月いち木曜日マルシェ」の開催し、満足度が向上した。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	アンケートを実施し要望を受け、おやきづくり体験を実施した。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	小中学校での継承、開発に取り組んだ。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	「あちやまキャンペーン」「ふるさと納税返礼品」「NAGANOマルシェ」「月いち木曜日マルシェ」等実施したことで、売り上げアップにつなげた。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	適正かつ明確に区分されている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	ハサップに沿った衛生管理の徹底をした。浄化槽のポンプの故障を適時に報告した。	32
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	4	他事例の研修に出向いて実施した。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	自主事業でパソコンを購入し、デジタル化を進めた。今後も活用をし管理運営を行う。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3	防災訓練を行った。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	持続可能な農業の視点で地元農産物消費拡大対策業務に取り組んだ。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	税理士とともに会計処理に関する研修会を行った。市が主催する研修会に参加し、指定管理者制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	31 (50)	自主事業にて備品(パソコン)を購入したほか、コストを意識した運営方法に取り組み、年間黒字化施設への転換に向けた成果を挙げはじめている。引き続き研修参加を通じてなど、後進の人材育成に取り組んでほしい。
(2) 財務の視点	17 (25)	
(3) 業務の視点	32 (45)	
(4) 人材の視点	13 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	蒸し器修理	71,390	80,000	
	合 計	71,390	80,000	
	事業計画書に定める修繕費の額	80,000	指定管理料に含まれる修繕費	80,000
差 額		△ 8,610	修繕費合計額	71,390
			差額(精算対象額)	△ 8,610

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		0	指定管理料に含まれる備品購入費	0
差 額		0	備品購入費合計額	0
			差額(精算対象額)	0

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和7年度
施設名称	中野陣屋・県庁記念館						
指定管理者	一般財団法人信州中野ふるさと公社			指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)		
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野陣屋・県庁記念館条例						
施設設置目的	歴史及び文化とのふれあいを通じ商業の振興を図るため。						
施設概要	コミュニティールーム、常設展示室、資料展示室、会議室、土蔵資料館、カフェ						
施設の主な実施事業	管理運営事業、指定管理者による自主事業(喫茶事業、陣屋特別展、ミニギャラリー展示)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	利用者数			30,203	33,632	89.8%	
	※(内訳)カフェ利用者数			8,739	8,096	107.9%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	10,023,000	市収入額	45,000
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	9,493,817	10,677,000	△ 1,183,183	9,504,169	7,325,164	2,179,005
	自主事業	7,825,923	6,301,000	1,524,923	9,860,839	8,386,535	1,474,304
	合 計	17,319,740	16,978,000	341,740	19,365,008	15,711,699	3,653,309
職員の配置状況	館長:1名、パート職員:3名 合計4名						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年4月8日	二回目	令和7年9月16日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
季節やお客様のニーズに合わせた新メニューの開発を行い、既存のメニューに関しても多角的な視点から見直し、定番商品もアレンジを加え集客に努める。 カレーフェスやわくわくフェア等イベントへの参加を積極的行い、貸館展示者にも協力いただきながら売店売上及びカフェ利用の向上に努める。	→	季節に合わせた新メニューを開発し、中野市商店会連合会主催のイベントやカレーフェス等にも積極的に参加し利用向上に努めた。
目を惹く様な販促ツールを作成するとともに、Instagram等のSNSを活用することにより若年層へのPRも展開する。	→	イベントやカフェの新メニュー、展示についてInstagramで発信した。
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】	→	
【苦情・改善の要望】 無料コンサートなど気軽に観覧出来るイベントを 開催して欲しい。 展示のギャラリートークイベント時に大人数でよく聞こえない。	→	ロビーコンサートに加えて、毎月第三日曜日を"陣屋寄席"と名付けて落語研究会の発表の場を設けた。 椅子の配置を変えて、対応した。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	2	カフェの利用者は増加しているが、館内全体の利用者は減少した。夏季に限らず年間を通して減少している。	26
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	席の配置を変更する等、適切に対応した。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	気軽に観覧できるイベントとして、新たに落語研究会の発表の機会を設けた。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	5	自主事業について、年度計画比120%以上の収入があった。	22
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	5	カフェのメニューについて料金の見直しや、新メニューを考案した。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	5	税理士の指導を受け、適正に会計処理が行われている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	台帳を整備し、適切に管理されている。	25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	清掃に関して、周辺道路も清掃することで施設以外の景観も向上させている。	30
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	アンケートの電子化や、キャッシュレス決済を導入している。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	2	月次報告について、実施したイベントや展示のチラシや写真の添付を求めたが添付がなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	売店利用者に対して、エコバックの使用を推奨した。チラシ等を再利用した手提げ袋等を作成した。	45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	取引先主体の調理研修に参加した。市が主催する研修会へ参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1)-① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	カフェだけでなく、館内全体の来館者が増えるような展示、イベントの実施を指示した。
(3)-⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	改善指示には速やかに対応し、対応が難しい場合はその旨を報告するよう指示した。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	26 (50)	入館者について、カフェの利用者は増加したが、全体の利用者は減少した。カフェ以外の利用で、施設の入館者数が増加するようなイベントや展示を企画・誘致してほしいと考える。 毎月の業務の報告について、市からの改善指示への対応が不十分であることから、今後は迅速に対応してほしい。
(2) 財務の視点	22 (25)	
(3) 業務の視点	30 (45)	
(4) 人材の視点	13 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	LAN配線等工事	79,200	0	緊急修繕する必要が生じたため。
	看板修理	22,440	0	緊急修繕する必要が生じたため。
	樋修理	144,980	0	緊急修繕する必要が生じたため。
	トイレウォシュレット修理	52,000	0	緊急修繕する必要が生じたため。
	合 計	298,620	0	
事業計画書に定める修繕費の額		273,000	指定管理料に含まれる修繕費	300,000
差 額		25,620	修繕費合計額	298,620
			差額(精算対象額)	△ 1,380

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	合 計	0	0		
事業計画書に定める備品購入費の額			指定管理料に含まれる備品購入費		0
差 額		0	備品購入費合計額		0
			差額(精算対象額)		0

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和7年度
施設名称	中野市観光会館・日本土人形資料館						
指定管理者	一般財団法人信州中野ふるさと公社			指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)		
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市観光会館条例						
施設設置目的	中野土人形と全国の土人形の展示と絵付け体験の普及を図るため。						
施設概要	展示室・休憩室・茶室・会議室・トイレ・事務室・倉庫・前庭・駐車場						
施設の主な実施事業	土人形の展示と絵付け体験、管理運営事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	観覧者数			3,374	3,508	96.2%	
	絵付け体験棟利用者数			896	801	111.9%	
	出張絵付け体験者数			809	914	88.5%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	9,630,000	市収入額	437,050
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	5,767,620	12,788,000	△ 7,020,380	5,776,113	13,130,362	△ 7,354,249
	自主事業	6,204,318	1,540,000	4,664,318	5,292,536	2,331,922	2,960,614
	合 計	11,971,938	14,328,000	△ 2,356,062	11,068,649	15,462,284	△ 4,393,635
職員の配置状況	館長1名、職員2名						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年9月16日	二回目	令和8年3月6日			

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
自主事業の正確な収入見込みの検討および、指定管理期間内における来館者数増加に向けた事業の実施に努め、実態に即した計画の立案・実施を求めていくこととする。加えて、創作土人形等の制作・加工において職員の教育機会の確保、能力向上に向けた取り組みも実施するよう指導していく。	→	企画展の実施や、市内外イベントへの参加時に宣伝を行なうことで有料観覧者数(令和6年度1,460人、令和7年度1,574人)、絵付け体験棟利用者数が増加した。また、研修への参加、土人形講師からの指導など能力向上に向けての取り組みを行った。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・小学校社会科見学および絵付け体験を受け入れ、大変好評を得て多くの児童から御礼の手紙をいただいた。 ・4年目を迎える千支の「まめ福」が好評で、十二支揃うよう開催して欲しいというご意見をいただいている。 ・土人形の歴史の案内の説明があり良かったとご意見をいただいた。	→	更なるお客様目線での接客とサービス向上に努める。
【苦情・改善の要望】	→	

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		31
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	県内の各地の多くの公民館から見学と絵付け体験に来館があり、楽しかったと感想をいただいた。また、市内の生き生きサロンや高齢者施設、志賀高原等のホテルでの絵付け体験は好評で、次回の予約に繋がった。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	苦情などはなかった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	一昨年から発行しているスタンプカードは体験者から好評をいただき、新作絵付け体験土人形も喜ばれている。また、JAF会員優待に登録して絵付け体験者増加に努めている。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	2	指定管理事業での赤字を自主事業で回収できなかった。	19
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	市内外、県外のイベントにも中野土人形を広く知ってもらうために積極的に参加し、来館者の増加に努めた。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	コピー用紙の裏紙使用。トイレの電気の節電を呼びかける掲示をした。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	5	顧問税理士の指導を受け、適正に行われている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	適正に行われている。	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	日々の清掃、日本庭園や駐車場や館周辺草取りや樹木の剪定を行い、巡り逢いの丘の維持管理は専門業者に依頼し適正な維持管理に努め、消防設備点検、自動扉の保守点検も定期的に行われた。	33
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	ペーパーレスを積極的に進めている。外国人の来館者が増加傾向にあることから、翻訳アプリの導入を行った。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	改善指示に対し、適切に対応した。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行い、消防署の指導のもと消防訓練と救命講習会へ参加。また、年2回職員の消防訓練を行っている。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件、事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	不要となったチラシ、ポスター等を土産袋に再利用している。絵付け体験用パレットはチラシの裏面を使用するなど、ごみの削減に取り組んでいる。	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	土人形の制作に優れている講師から定期的に指導を受けている。市が主催する研修会へ参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				50
				25
				45
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(2)-① 計画どおり収入が得られたか	自主事業の収入が計画比約80%であり、計画の見直しが必要だと思われる。 実態に即した計画の立案と、計画した事業の確実な実施を求める。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	31 (50)	・さらなる魅力ある企画展を実施して入館者増に繋げてもらいたい。 ・新しい絵付け体験用人形を創作して絵付け体験者の増加に努めてもらいたい。 ・市内外はもちろん訪日外国人観光客にも信州中野の土人形を広めるためのイベントを企画、そしてイベントに積極的に参加して周知してもらいたい。 ・市内小中学校から授業の依頼をいただき行っている。未来を担う子ども達に中野土人形という伝統文化を理解してもらう活動をこれからも行ってほしい。 ・効率的、効果的、安全な施設の管理運営に努めていただきたい。
(2) 財務の視点	19 (25)	
(3) 業務の視点	33 (45)	
(4) 人材の視点	13 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	誘導灯蛍光管交換	880	0	緊急に修繕する必要が生じたため。
	誘導灯修繕	35,200	0	緊急に修繕する必要が生じたため。
	水栓フィルター修繕	3,300	0	緊急に修繕する必要が生じたため。
	軽自動車車検整備	139,504	0	緊急に修繕する必要が生じたため。
	事務室エアコン修理	122,100	0	緊急に修繕する必要が生じたため。
	合 計	300,984	0	
事業計画書に定める修繕費の額		300,000	指定管理料に包含される修繕費	300,000
差 額		984	修繕費合計額	300,984
			差額(精算対象額)	984

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	合 計	0	0		
事業計画書に定める備品購入費の額		0	指定管理料に包含される備品購入費		0
差 額		0	備品購入費合計額		0
			差額(精算対象額)		0

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中野地域職業訓練センター						
指定管理者	職業訓練法人中高職業訓練協会			指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)		
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市地域職業訓練センター条例						
施設設置目的	地域における労働者、求職者に対し、各種職業訓練を行い、職業の安定と労働者の地位向上を図るため。						
施設概要	鉄筋コンクリート造2階建【教室棟(第1～5研修室、多目的ホール、視聴覚室、事務室、調理室、和洋室、トイレ、倉庫)、実習棟(実技室、研修室、実習室、トイレ)、駐車場】						
施設の主な実施事業	施設の管理業務、自主事業(職業能力開発校ほか)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	利用合計(延人数:人)			26,987	22,161	121.8%	
	(内訳)研修、講習会、その他(会議、展示会等)			22,100	16,835	131.3%	
	職業認定、公職職業訓練			4,887	5,326	91.8%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	6,720,000	6,720,000	0	6,260,610	6,260,610	0
	自主事業	40,650,000	40,650,000	0	35,340,182	35,340,182	0
	合 計	47,370,000	47,370,000	0	41,600,792	41,600,792	0
職員の配置状況	所長(管理責任者)兼防火管理者 1名、常勤職員 2名 合計3名 (中高職業訓練協会 職員3名のうち3名)						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年8月29日	二回目	令和8年3月14日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
年度計画における目標数値について、前年度報告を基に現状実現可能な数値の算出に努めること。	→	前年度の利用者数実績を鑑み、目標数値を設定。
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・施設は綺麗で使用に特段の問題がない。	→	定期的なメンテナンス(清掃業者による清掃やワックス)にて継続的に維持。
【苦情・改善の要望】	→	

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	自主事業において受講者数の増加が見込める講座を実施するなど積極的に行った。	36
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	自主事業においてパソコンのスキルアップを図る講座を開催するなどし、満足度を高める取り組みを積極的に行った。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	駐車場の混雑が予想される場合は事前に利用団体と協議を行い、また当日の誘導を行い、事故防止はもとより利用者満足度を高めた。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	「女性のための就職支援セミナー」修了者(在宅ワーカー)で構成するMAMIKUTOIを運営し、コワーキングスペースの有効活用はもとより、在宅ワーカーの一定程度の活躍の場が構築された。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	2	利用人数は増加したが、利用回数は減少したため。(R6年度1900回⇒R7年度1600回)	18
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	5	年間通じてWeb広告の配信や、中野市勤労者互助会員への通知などを実施。R7年度は収入は増加しなかったが、新規利用団体等が約20団体となるなど、次年度以降につながる取り組みを実施した。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	適切かつ明確に区分されている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	適切に管理され、紛失等はない。	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	いずれの業務も然るべき業者に委託し、実施及び法令順守が徹底されている。	34
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	4	仕様書に定める研修の他、苦情対応のための研修を自主的に受講した。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	5	常に余裕をもって対応しており、補足資料等も速やかに提出され、評価に値する。また、苦情対応においても速やかに市へ報告を行い、解決までの情報共有に努めた。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	コワーキングスペースの利用申し込みをWeb方式へ変更し、会場案内のデジタルサイネージを運用するなど、利用者の利便性の向上とともに業務効率も改善している。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	駐車場の混雑が予想される場合は事前に利用団体と協議を行い、また当日の誘導を行うなどし、事故防止を図った。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	女性や再就職希望者に対し、受講料の割引を行い、学習の機会を確保した。	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		14
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	4	自主事業(求職者訓練など)に役立てるため、国家資格キャリアコンサルタントを有する者を配置している。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	求職者向け訓練担当者のスキルアップ研修や、市で実施した指定管理者制度の理解力向上に係る研修へ参加し、配置人員のスキルアップを図った。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				50
				25
				45
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(2)-① 計画どおり収入が得られたか	年度計画における目標数値について、前年度報告を基に現状実現可能な数値の算出に努めること。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	36 (50)	令和7年度の利用者数は前年度と比較し増加したが、会場使用料収入が減少した。利用者数増加の要因としては、自主事業で行った講座の受講者が多く、また期間も長期間であった事や、展示会等の利用者が増加したことが大きいと考える。また貸館の各種研修において、それぞれの参加者が増えている傾向があり利用者の増加という結果となった。 その一方、会場使用料は利用者数とは比例せず、令和7年度は減少している。 昨年度から重点的に実施しているセンター利用促進のため年間を通じたWeb広告の配信や関係団体等へもPRチラシの定期的な配布については、令和7年度はじめて利用いただいた団体等は約20あったことから、センターについて幅広く認知されてきていると考える。 なお、自主事業にて各種講座や受託業務は、過去5年間に於いて最高額となっている点を評価する。
(2) 財務の視点	18 (25)	
(3) 業務の視点	34 (45)	
(4) 人材の視点	14 (20)	
年度評価	B+	
良 好		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入	
	実習棟 コンセント工事	3,410	25,000	使用中の破損につき修繕	
	洋室 トイレタンク修理	5,170	10,000	使用中の破損につき修繕	
	合 計	8,580	35,000		
	事業計画書に定める修繕費の額	250,000	指定管理料に包含される修繕費		0
差 額		△ 241,420	修繕費合計額		8,580
			差額(精算対象額)		8,580

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	合 計	0	0		
事業計画書に定める備品購入費の額			指定管理料に包含される備品購入費		0
差 額		0	備品購入費合計額		0
			差額(精算対象額)		0

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和7年度
施設名称	中野市まちなか交流の家						
指定管理者	なつちよ合同会社		指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)			
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市まちなか交流の家条例						
施設設置目的	土人形の振興を通じて市街地の活性化に資するため、まちなか交流の家を設置する。						
施設概要	体験室、焼窯室、トイレ、台所、事務室、倉庫						
施設の主な実施事業	施設の管理運営、土人形の絵付け指導、指定管理者による自主事業(施設内絵付け体験事業、出張絵付け体験事業、土人形制作販売及び付随品の販売、中野土人形販売)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	来館者数(人)			1,891	2,015	93.8%	
	館内絵付け体験者数(人)			1,077	951	113.2%	
	出張絵付け体験者数(人)			386	0	0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	10,447,000	市収入額	0
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	10,649,997	10,647,000	2,997	10,650,997	9,952,975	698,022
	自主事業	3,059,180	1,170,000	1,889,180	3,594,328	777,419	2,816,909
合 計	13,709,177	11,817,000	1,892,177	14,245,325	10,730,394	3,514,931	
職員の配置状況	施設長1名(非常勤)、防火管理者1名(非常勤) 職員:2名 外部委託:5名						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年4月21日	二回目	令和8年2月16日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 販売している土人形の種類が豊富で選ぶのが楽しい、手ごろな価格で購入・絵付け体験がしやすい等の意見をいただいた。	→	引き続きサービス向上に努める。
【苦情・改善の要望】	→	

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者は前年に比べて増加したか	5		34
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	10	満足度100%であった。絵付け体験後の写真撮影スポットを設置。引き続きスタンプカードでリピーターを増加。強い要望で小学生のための出張絵付け体験を実施。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	苦情などはなかった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	年間30回を超える自主事業の開催に加え、絵付け体験後の写真撮影スポットを設置。引き続きスタンプカードでリピーターを増加。強い要望で小学生のための出張絵付け体験を実施。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		21
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	土人形カプセルトイの継続的設置。インバウンド向けの英語パンフレットを作成し、地獄谷野猿公苑などで配布。また、同施設での土人形販売契約を取り付け、スノーモンキー土人形を販売したことなどで収入増加につながった。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	他の施設と共同して職員を雇用し、経費節減に取り組んでいる。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	5	顧問税理士によるチェックを受けている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	5	顧問税理士によるチェックを受けている。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		38
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	4	遅滞はなく、内容の充実も図られていた。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	5	インバウンド向けに翻訳機を設置。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	改善指示はなく、運営状況は適切であった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	マニュアル整備を行い、職員研修を行った。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故の発生はない。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	5	HPに個人情報保護方針の記載があり、個人情報の保護が図られている。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	5	ポスターやチラシの再利用で、レジ袋を使用しなかった。アンケートのデジタル化により紙の削減に取り組んでいる。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	4	協定書以上のスタッフを確保し、ほぼ2名体制のシフトを維持した。	16
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	4	協定書以上のスタッフを確保し、ほぼ2名体制のシフトを維持した。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	市が主催する研修会へ参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	4	就業規則を整備している。	
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	34 (50)	昨年度は来館者数を増やすため、出張絵付け体験(施設外での絵付け体験)を取り止めたが、今年度は小学校からの要望があり、出張絵付け体験を実施した。これにより絵付け体験者数が約150%増加した。 また、イベントの回数の目標に関しては、10回に対して34回開催し目標を達成した。利用者満足度に関しては、苦情や要望は一切なく、満足度100%であったことを評価する。 利用者増に努めてもらい運営状況に問題はないが、施設来館者数は減となったため、引き続き来館者数増加に向けた取り組みを行ってほしい。
(2) 財務の視点	21 (25)	
(3) 業務の視点	38 (45)	
(4) 人材の視点	16 (20)	
年度評価	B+	
良 好		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	エアコンクリーニング	120,000	0	経年劣化による匂い・粉じん対策のため
	蛍光灯交換	9,284	0	経年劣化による故障のため交換
	照明器具交換	179,300	0	経年劣化による故障のため交換
	合 計	308,584	0	
事業計画書に定める修繕費の額		300,000	指定管理料に包含される修繕費	300,000
差 額		8,584	修繕費合計額	308,584
			差額(精算対象額)	8,584

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	石油ストーブ	33,200	0	経年劣化による故障のため買い替え
	合 計	33,200	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		200,000	指定管理料に包含される備品購入費	0
差 額		△ 166,800	備品購入費合計額	33,200
			差額(精算対象額)	33,200

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中野市関係人口創出拠点施設(ZENYA)						
指定管理者	なつちよ合同会社		指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日(5年間)			
根拠法令							
設置条例	中野市関係人口創出拠点施設条例						
施設設置目的	関係人口の創出・拡大を通して地域社会の活性化に資すること。						
施設概要	交流スペース、コワーキングスペース・レンタルオフィス、多目的ルーム(宿泊、オフィス利用)						
施設の主な実施事業	貸しスペース事業・飲食店運営事業、宿泊事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	宿泊者数・施設利用者数(内訳は下記のとおり)			2,104	5,021	41.9%	
	宿泊者数(人)			674	1,034	65.2%	
	レンタルオフィス利用者(人)			12	12	100.0%	
	交流スペース利用者(人)			1,418	3,975	35.7%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	3,025,000	市収入額	324,465	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	9,955,000	9,516,500	438,500	8,796,376	8,475,600	320,776
	自主事業	1,800,000	2,930,000	△ 1,130,000	940,560	2,574,055	△ 1,633,495
合 計	11,755,000	12,446,500	△ 691,500	9,736,936	11,049,655	△ 1,312,719	
職員の配置状況	施設長:1名(非常勤)、副施設長:4名(非常勤)、スタッフ:5名						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年4月16日	二回目	令和7年5月7日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 1部屋貸してコスパが良い。 電子レンジ・洗濯機・ウォーターサーバーがあってありがたい。	→	今後もサービス向上に努める。
【苦情・改善の要望】 駐車場が暗くて常夜灯が欲しい。	→	センサーライトで次年度対応する計画。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者は前年に比べて増加したか	1	R6年度比 △41.9%	23
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	大手宿泊予約サイト「ブッキングドットコム」のトラベラーレビューアワード2026で表彰された。(平均口コミ点数8.0以上/10点満点中)	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	2	利用者が目標値に達せず計画した利用料金収入が得られなかった。	16
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	2	稼働率の低いコンテナハウス1棟をレンタルオフィスで使えるよう整備したが、利用につながらなかった。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	他の施設と共同し職員を雇用し、人件費削減に努めている。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	顧問税理士によるチェックを受けている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	顧問税理士によるチェックを受けている。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		32
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	2	月例報告書等の提出が遅かった。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	5	宿泊予約システムなどデジタル化に対応した。決済サービスのキャッシュレス化に対応した。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	2	おもに午前中など、事業のない時間帯での取り組み指示について、考えはあるもののなかなか実現しなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	5	セキュリティ強化のため、裏口ドアに電子錠の取り付けを行った。事件・事故はなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	5	宿泊予約サイトシステムにより適切に管理した。HPに個人情報保護方針の記載があり、個人情報の保護が図られている。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	小学生を対象に寺子屋を実施するなどした。(4 質の高い教育をみんなに)	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		16
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	5	宿泊業経験者のスタッフを確保した。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	市が主催する研修へ参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	4	就業規則を整備した。	
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1)-① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	宿泊では、グリーンシーズンでの利用者増に向けたプラン、取り組みを実施し利用者数の増を図ること。 自主事業では、通年でカフェ営業は実施しているものの、それ以外の企画については、継続的に間隔を開けずに様々な取り組みを実施し利用者数の増を図ること。
(2)-① 計画どおり収入が得られたか	宿泊について、新たなプラン提供がいくつかあったものの、冬期以外は稼働率が低かった。冬期以外の稼働率を上げる取り組みを実施すること。指定管理業務も自主事業も、利用者増、輸入増につなげるため、適宜SNSなど情報発信を継続して行うこと。
(2)-② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	レンタルオフィスの利用を検討している団体はいたが、利用には至らなかった。8年度では、営業やSNSなどで発信を行い利用促進を図ること。また、レンタルオフィス以外の用途も考えられるため、様々な活用方法を検討し、実行に移すこと。
(3)-③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	月例報告書などの書類が遅くなりがちであった。R8年度ではキントーンで都度内容が報告できる状態にし、書類作成の負担軽減を図る。
(3)-⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	パートタイムスタッフ1名が4月からフルタイムとして勤務となるため、これまでより有効に人的リソースが活用できるようになる。 人的リソースを活かして、企画だけでなく実行に移すこと。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	23 (50)	利用者に対しては、大手予約サイトでアワードを受賞したことからも、懇切丁寧な対応を行った結果であり評価に値する。引き続き、利用者の目線に立った管理運営を継続していただきたい。 指定管理業務では、様々な宿泊プランを実施するなど宿泊者の増加に向けた取り組みも評価する。指定初年度であり、年度当初からスムーズな運営が難しかったと認識しているが、冬季に大きく宿泊者数を増やしたことを評価する。残念ながら、宿泊者数は目標値を下回ってしまったが、今後はグリーンシーズンでの利用者増につながる取り組みに期待したい。 自主事業では、牧秀悟選手写真展、婚活パーティーなど随時様々なイベントを実施されたが、結果としては、交流スペースの年間目標値に達しなかったことから、今後はさらに進化させてイベント企画を実施することを求めます。 次年度以降は、関係人口創出拠点施設として、より多くの人が市外から訪れるさらなる取り組みに期待したい。
(2) 財務の視点	16 (25)	
(3) 業務の視点	32 (45)	
(4) 人材の視点	16 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入	
	エアコンクリーニング	53,526	80,000		
	レンタルオフィス板金工事	114,653	0	経年劣化	
	裏口ドア電子錠取り付け	38,063	60,000		
	ベッドフレーム交換	60,280	100,000		
	交流スペース壁紙張り替え	83,600	0	経年劣化	
	ドアクローザー取り付け	38,000	60,000		
	2階トイレ漏水工事ほか	100,476	0	経年劣化	
	合 計	488,598	300,000		
事業計画書に定める修繕費の額		300,000	指定管理料に包含される修繕費		300,000
差 額		188,598	修繕費合計額		488,598
			差額(精算対象額)		188,598

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	防犯カメラ、洗濯機、ノートパソコンほか	340,100	350,000		
	合 計	340,100	350,000		
事業計画書に定める備品購入費の額		350,000	指定管理料に包含される備品購入費		0
差 額		△ 9,900	備品購入費合計額		340,100
			差額(精算対象額)		340,100

修繕費・備品購入費の
過不足についての考え上限額を超える場合は、基本協定書に基づき対応する。
緊急性を要しないものについては計画的な修繕を実施する。

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和7年度
施設名称	中野市豊田温泉公園(もみじ荘)					
指定管理者	一般財団法人信州中野ふるさと公社			指定期間	令和7年4月1日～令和11年3月31日(4年間)	
根拠法令						
設置条例	中野市豊田温泉公園条例					
施設設置目的	市民の福祉と健康増進に寄与するとともに地域活性化を図るため。					
施設概要	もみじ荘、ゲートボール場					
施設の主な実施事業	温泉、食堂、休憩コーナー、ゲートボール場					
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)
	施設利用者数(人)			68,248	66,009	103.4%
	※(内訳)温泉利用者数(人)			67,881	65,485	103.7%
	※(内訳)ゲートボール場(人)			367	524	70.0%
						0.0%
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	472,000	市収入額	0
	項 目	予算額			決算額	
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出 収 支
	指定管理業務	25,014,000	22,086,000	2,928,000	31,192,630	29,166,935 2,025,695
	自主事業	27,438,000	32,068,000	△ 4,630,000	29,233,737	30,232,204 △ 998,467
	合 計	52,452,000	54,154,000	△ 1,702,000	60,426,367	59,399,139 1,027,228
職員の配置状況	店長1名、厨房2名、施設係5名、受付庶務2名 計10名					
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年5月30日	二回目	令和7年10月21日		

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
① 事業評価内容(2)～④「指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか」について、経理区分が分けられていないため、改善を図りたい。	→	システム移行により、経理区分の明確化が図られている。
② 事業評価内容(3)～⑤「市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか」について、会計処理など改善指示への対応が不十分であったため、改善を図りたい。	→	経理区分について、適正化が図られている。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・施設が綺麗で温泉がとても良い。	→	・引き続き綺麗といわれる様、清掃に努める。
【苦情・改善の要望】 ・下駄箱のカギをしなくて靴を入れている人がいるので困る。 ・食堂のメニューが季節で変われば良いと思う。 ・入場券10枚でタオルがもらえる企画が突然廃止されて残念だった。	→	・POP等でお客様に注意喚起し、受付にて口頭で呼びかける。 ・お客様に喜んでいただけるようにメニュー変更をしている。 ・店頭ではご案内できていたが、HPやSNS等での案内ができていなかったため、今後周知徹底するよう指導を行った。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	利用料金の値上げがあったが、利用者数増加となった。	22
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	2	事前の協議を欠いた臨時休業や、特典サービスの廃止について周知不足するなど、利用者の利便性と満足度を損なう対応が見受けられた。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		18
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	期間限定でポイントカードを実施することで食事入浴のリピー率があがった。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	明確に分かれている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	適切に管理されている。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		24
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	1	改善取組状況の結果の通り、改善されておらず、引き続き指導を要する。また、月次報告の内容修正が未了となっているため。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	3		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	1	業務報告の遅滞について改善がされていなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	地元中心の食材を使用し、地産地消に努めた。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	市が主催する研修会へ参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1)-③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	協議を行わず臨時休業となる日があったため指導を行った。また自主事業として行っている入場券10枚でタオルがもらえる企画が突然の廃止となったことにより苦情につながるなど、周知不足が散見された。
(3)-③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	改善取組状況の結果の通り、改善されておらず、引き続き指導を要する。また各施設日報化し、すぐに入力確認ができる仕様になったことから随時確認をしていく。
(3)-⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	業務報告の提出遅滞に対する改善がされず、また報告内容の修正が未了のままとなっていたため改善を要求する。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	22 (50)	利用料金の値上げがあったにもかかわらず、施設利用者数が増加した点は評価する。 業務報告書の提出遅滞について改善を要求する。 アンケートボックス設置により、利用者の声を収集し運営の改善に活かすことができている。 アンケートの回収率改善に関しては、施設入場時に券と一緒に渡すなど意見収集方法を工夫されたい。 引き続きHPやSNSでの発信を行い、利用者が多い主要観光施設として運営に努めてほしい。
(2) 財務の視点	18 (25)	
(3) 業務の視点	24 (45)	
(4) 人材の視点	13 (20)	
年度評価	B-	
要改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	草刈機修理	1,000	0	緊急を要する修繕が必要になったため。
	窓ガラス修理	17,952	0	〃
	車両修繕	17,900	0	〃
	源泉槽電極修繕	105,160	0	〃
	浴室オーバーフロー御影石修繕	330,000	330,000	
	露天風呂床タイル修繕	198,000	198,000	
	その他修繕	43,840	0	緊急を要する修繕が必要になったため。
	合 計	713,852	528,000	
事業計画書に定める修繕費の額		807,000	指定管理料に包含される修繕費	20,000
差 額		△ 93,148	修繕費合計額	713,852
			差額(精算対象額)	693,852

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		0	指定管理料に包含される備品購入費	0
差 額		0	備品購入費合計額	0
			差額(精算対象額)	0

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和7年度	
施設名称	中野市豊田ふるさと交流館(道の駅ふるさと豊田)及び豊田赤坂農村公園						
指定管理者	一般財団法人信州中野ふるさと公社		指定期間	令和7年4月1日～令和11年3月31日(4年間)			
根拠法令							
設置条例	中野市豊田ふるさと交流館条例、中野市農村公園条例						
施設設置目的	市民の世代間、地域づくり団体等の交流の中核施設として活用を図るため。						
施設概要	売店、直売所、食堂、公衆トイレの運営及び維持管理、ドッグラン						
施設の主な実施事業	道の駅、交流館、特産品販売コーナー、農産物直売所、食堂、ドッグラン運営						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	施設利用者数(人)			149,244	189,275	78.9%	
	※(内訳)食堂(人)			38,083	57,843	65.8%	
	※(内訳)特産品販売コーナー(人)			23,315	37,514	62.2%	
	※(内訳)農産物直売所(人)			87,846	93,918	93.5%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	4,021,000	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	4,021,000	4,021,000	0	4,054,088	5,110,930	△ 1,056,842
	自主事業	214,373,000	201,184,000	13,189,000	201,728,916	202,853,634	△ 1,124,718
合 計	218,394,000	205,205,000	13,189,000	205,783,004	207,964,564	△ 2,181,560	
職員の配置状況	事務長1名 課長2名 店長2名 料理長1名 販売係8名 調理係10名 計24名						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年5月16日	二回目	令和7年10月3日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
① 事業評価内容(1)~②「利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか」について、アンケートを実施しておらず、利用者の意見収集ができていなかったため、改善を図りたい。	→	令和7年度よりアンケートボックスを設置し、利用者の意見を収集できた。
② 事業評価内容(1)~③「苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか」について、職員の態度に対する苦情をいただいたため改善を図りたい。	→	利用者から指摘のあった苦情・要望に対する情報を共有し、接遇に関する研修等を実施した。
③ 事業評価内容(3)~②「施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか」について、従業員教育等、研修を行う必要があるため、適宜実施されたい。	→	上記接遇研修に加え、ハラスメント研修等各種必要な研修を実施した。
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・料理がおいしい。 ・量が多くて良い。 ・直売所が安くて品物が多くて良い。	→	・今後も美味しいと思っていただける様にメニューを考えていく。 ・引き続き品揃えを多くしていくように生産者の方々と協力していく。
【苦情・改善の要望】 ・料理の提供時間が遅い。 ・品切れの商品があって残念だった。	→	・調理工程や仕込み量を見直してお客様を待たせないようにしていく。 ・来店者数を予測し適切な発注をして品切れがないようにしていく。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	目標値160,000人に対して、149,244人の実績となった。(休業期間を除く)	27
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	アンケート結果を速やかに運用の見直しに反映させ、利用者の満足度向上に努めた。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		18
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	休業期間があったが、イベントの集客力を高めるため、キッチンカーの事業者と協力してイベント実施に努めた。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	明確に分かれている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	適切に管理されている。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	トイレ掃除について、仕様書の定め以上の取り組みを行った。	28
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	2	改善取組状況の結果の通り、改善されておらず、引き続き指導を要する。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	5	キャッシュレス化への対応及び、HPやSNSを活用したPRが出来ていた。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	1	業務報告の遅滞が目立つ。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	地元中心の食材を利用し、地産地消に努めた。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	市が主催する研修会へ参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(3)-③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	業務日誌等について基本協定書に定める報告期限に提出がされていない。改善されていないため引き続き指導する。また、課内で各施設の月報を日報化したこともあり、随時入力確認を行える環境になったことから、確認指導を行っていくこととする。
(3)-⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	業務報告について、期限までの提出について指導を行ってきたが改善されなかった。上記同様に確認指導を行っていく。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	27 (50)	リニューアル工事による休業期間があったが、その前後における周知及び、運営体制について適切に対応できていた。 アンケートボックス設置により、利用者の声を収集し、運営の改善に活かすことができている部分を評価する。 引き続きHPやSNSでの発信を行い、利用者が多い主要観光施設として運営に努めてほしい。 業務報告書の提出遅滞について、期限までの提出をするよう改善を図られたい。 ドッグランの利用者も道の駅の利用へ誘導できるよう、仕掛けなどを工夫をしてもらうよう要求する。
(2) 財務の視点	18 (25)	
(3) 業務の視点	28 (45)	
(4) 人材の視点	13 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入	
	乗用草刈機修理	13,338	0	緊急を要する修繕が必要になったため。	
	刈払機修理	231,219	0	"	
	浄化槽排水マス修理	31,000	0	"	
	トイレ修理	23,320	0	"	
	合 計	298,877	0		
事業計画書に定める修繕費の額		290,000	指定管理料に包含される修繕費		290,000
差 額		8,877	修繕費合計額		298,877
			差額(精算対象額)		8,877

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	合 計	0	0		
事業計画書に定める備品購入費の額		0	指定管理料に包含される備品購入費		0
差 額		0	備品購入費合計額		0
			差額(精算対象額)		0

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和7年度
施設名称	中野市ふるさと交流拠点施設（タカギセイコーふるさとパーク）						
指定管理者	一般財団法人信州中野ふるさと公社			指定期間	令和5年10月1日～令和10年3月31日（4年6ヶ月間）		
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市ふるさと交流拠点施設条例						
施設設置目的	スポーツ・遊び・健康増進を通じた地域の世代間交流を図るため。						
施設概要	アリーナ：鉄筋コンクリート2階建、グラウンド、芝生広場、駐車場、トイレ棟、事務室						
施設の主な実施事業	拠点施設の利用許可、効用を増加させる自主事業、管理運営事業						
施設利用状況	利用区分等（単位）				令和7年度実績（A）	令和6年度実績（B）	比較（A）／（B）
	利用者数				14,532	10,516	138.2%
	イベント・自主事業来場者数				1,702	3,926	43.4%
事業収支 （単位：円）	利用料金制	採用（指定管理料あり）		指定管理料額	8,000,000	市収入額	175,905
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	8,797,875	9,224,000	△ 426,125	8,806,841	12,998,544	△ 4,191,703
	自主事業	391,326	1,602,000	△ 1,210,674	732,282	260,690	471,592
	合 計	9,189,201	10,826,000	△ 1,636,799	9,539,123	13,259,234	△ 3,720,111
職員の配置状況	施設長1名、嘱託職員2名、パート1名 計4名						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年4月7日	二回目	令和7年11月14日			

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
①令和6年度は利用者数が目標に届かなかったため、今後は情報発信の方法を見直すとともに、魅力ある自主事業の充実に取り組みながら、利用者にとって利用しやすい施設となるよう、工夫と改善を図る。 ②令和6年度に計画していた自主事業の一部が未実施であったため、今後は計画と実施の整合を図り、設置目的や利用者ニーズに沿った事業運営の充実に努める。	→	①直接的な対話を通じてのコミュニケーションを図り、イベント情報発信や要望・改善点などの情報収集に取組み、SNS情報発信(HP、Instagramストーリーズで随時更新)、自主イベントの開催、冬期の陸上トラック除雪の強化による利用者減少期間の新規利用者の獲得に努め、利用者増加につながった。 ②利用者の年代や需要に合った自主事業の実施に努めた。
③指定管理における事業収入は目標未達だったため、今後は利用者の増加と収入向上を目指し、情報発信の強化およびサービスの質の向上に取り組んでいく。 ④情報発信や器具貸出、売店販売などの収入増加策を講じたものの、十分な効果は得られなかった。貸出備品や売店商品のラインナップを再検討し、利用者のニーズに応じたサービスを強化し、利用者及び収入の増加に努める。	→	③自主事業収入は目標を達成した。引き続き情報発信及びサービス向上に向けた取り組みを行う。 ④夏季期間は、暑さ対策としてベンチ・アイシングプールに日除け、グラウンド側アリーナ入口にミストファンの設置、売店では冷えた飲み物・アイスの販売、氷の提供を行い好評をいただいた。今後も利用者のニーズを探っていく。
⑤冬季の積雪の影響によりサッカーゴールの一部が破損する事案が発生した。今後は、気象条件を十分に考慮した備品管理を徹底するとともに、職員のリスク管理に対する意識向上を図り、台帳に基づく適正な備品運用体制の強化に努める。 ⑥敷地内の除草対応に不十分な点が見受けられた。今後は芝生の状態や季節に応じて適切なタイミングで除草作業を行い、常に良好な環境が保たれるよう努める。	→	⑤冬季期間には、除雪による駐車場から受付までの安全なアクセスの確保、落雪の注意喚起、軒先の氷・氷柱の除去に取り組んだ。引き続き備品運用体制の強化に努める。 ⑥芝生公園の草刈り・芝刈りは成長状況を見ながら年間5～8回行っている。
⑦除草に関する市からの改善指示に対処が不十分であったため、今後は職員配置の変更があった場合でも、指示内容が確実に引き継がれる体制を整えるとともに、職員全体で改善事項への共通認識を持ち、速やかかつ的確な対応に努める。	→	⑦指示、相談事項の共有が適切に行われている。引き続き引継体制を整えていく。

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ①利用の際、市内・市外、人数にかかわらず、予約などの必要が無く、個人でも気軽に利用できること。 ②電子決済も使え、小銭や財布が必要無いくところ。 ③きれいな施設で周りの環境も良く、トラックのブルーと芝のグリーンのコントラストが素敵なおところ。 ④冬期閉業の施設もある中、除雪もしてあり冬場に走れるのはありがたい。	→	・電話問い合わせや受付時には、予約不要や受付方法、貸出用具、利用料金などについて丁寧な説明を心掛けている。同時に、HPで専用利用や混雑状況などを案内していることも利用者にも周知している。 ・タッチ決済やQRコード決済に対応しており、利便性の向上に努めている。 ・トイレ清掃は毎日実施しており、芝生公園の草刈り・芝刈りは成長状況を見ながら年間5～8回行っている。 ・冬期の陸上トラックの除雪にも力を入れており、平日は7割、土日は9割のランニング可能を目標としている。また、HPやインスタグラムで陸上トラックの積雪状況を案内した結果、上越市・妙高市・飯綱方面から約30名の新規利用者が訪れた。
【苦情・改善の要望】 ①夜間照明について、夕方や夜利用の場合、グラウンド照明が暗いのもっと明るくしてほしい。 ②営業時間について、学校が終わってから来て間に合うように、もう少し延長してほしい。 ③営業時間について、夏は暑いので朝早くからの開館がありがたい。	→	・利用者に声がけし、必要であれば簡易照明器具の無料貸し出しを行い対応している。 ・開館時間に関しては、市の承認を得られると変更が可能だが、すぐに変更は難しいが検討することを説明。アンケート調査で需要を探る。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	利用者数は前年度対比138%。イベント・自主事業の利用者数が前年度対比43%となり、有料の利用者やリピーターが大幅に増加した。	34
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	夏場の暑さ対策として、近くに店舗が無い場合、自販機の他に売店で冷たい飲み物・アイスの販売を行い、中高生や家族連れの方から好評をいただいている。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	苦情などはなかった。 夜間は要望に応じて簡易ライトを無料で貸し出し、対応した。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		19
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	5	宿泊施設や合宿取扱代理店にPRをした結果、合宿の視察や、県外の高校生・大学生サークルの利用者が増加した。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	明確に分かれている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	適切に管理されている。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	2	施設の清掃、除草、修繕等に甘い箇所が見られる。施設内の修繕がされていない部分がある。	27
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	HPやSNSでの情報発信を積極的に行っている。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	3		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		14
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	4	協定書以上に人員を配置している。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	市が主催する研修会へ参加し、制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(3)-① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	除草作業や施設の修繕に不十分な箇所があった。定期的な除草、修繕箇所の補修を迅速に行う。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	34 (50)	初めて施設を訪れた方からは、「施設がきれい」との声が多く寄せられている。また、「こんな所に、こんな良い施設があったとは」との感想も多く、施設周知の必要性及び今後の伸びしろを強く感じている。 利用状況については、有料利用者が増加している。一般及び中学生以下の利用者は、それぞれ年間約800人増加した。専用利用については、利用回数がほぼ2倍に増加し、利用人数は約3倍に達している。無料(減免)利用者の減少は昨年行った1周年イベントに相当する規模のイベントを行っていないためと考えられる。 また、除草作業や修繕において、不十分な対応が見られたので、職員間で共有し再発防止に努めることを求める。
(2) 財務の視点	19 (25)	
(3) 業務の視点	27 (45)	
(4) 人材の視点	14 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	芝刈り機修理	21,380	0	緊急に修繕する必要が生じたため。
	サッカーゴール修理	118,000	0	緊急に修繕する必要が生じたため。
	除雪機修理	162,010	0	緊急に修繕する必要が生じたため。
	合 計	301,390	0	
事業計画書に定める修繕費の額		300,000	指定管理料に包含される修繕費	300,000
差 額		1,390	修繕費合計額	301,390
			差額(精算対象額)	1,390

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入	
	合 計	0	0		
事業計画書に定める備品購入費の額		0	指定管理料に包含される備品購入費		0
差 額		0	備品購入費合計額		0
			差額(精算対象額)		0

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	建設水道部 都市建設課	評価対象年度	令和7年度
施設名称	一本木公園ほか2施設					
指定管理者	一般社団法人一本木公園バラの会			指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)	
根拠法令	都市公園法					
設置条例	中野市都市公園条例、中野市一本木公園施設条例					
施設設置目的	公共の福祉の増進に資するため。					
施設概要	一本木公園:多目的広場、修景広場、野外ステージ、遊戯広場、林間プロムナード、あずまや(全体面積:3.4ha) 一本木公園展示館、一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム					
施設の主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業					
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)
	(総計)			42,988	41,840	102.7%
	一本木公園展示館来館者数(人)			20,428	19,811	103.1%
	一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム来館者数(人)			22,560	22,029	102.4%
						0.0%
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	35,807,000	市収入額	0
	項 目	予算額			決算額	
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出 収 支
	指定管理業務	36,785,949	36,620,000	165,949	36,274,679	35,490,384 784,295
	自主事業	5,002,626	6,070,000	△ 1,067,374	4,525,343	6,153,810 △ 1,628,467
	合 計	41,788,575	42,690,000	△ 901,425	40,800,022	41,644,194 △ 844,172
職員の配置状況	事務局員3名、管理作業員12名 計15名					
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年5月14日	二回目	令和7年11月19日		

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
倒木事故が発生してしまったため、今後事故が発生しないように、日常の点検及び高木類の定期点検を年1回実施する。	→	日常作業時に、異変がないか確認を実施し、高木については専門家による安全確認を実施した。
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 「多種類、色の種類が豊富ですね」「とてもキレイなバラが咲いていて優しい気持ちになりました」「昆虫展と妖怪展を見せていただき、とてもよかったです」 アンケート結果で、公園と施設の平均満足度80%を達成した。	→	バラまつりシーズンのバラ管理への称賛、それ以外の時期での展示企画への高評価を受け、年間を通じた取り組みが利用者ニーズへ対応して、十分な来園者サービスを提供していると考えられるので、引き続き適切な運営を実施する。 アンケートを実施し満足度が高かったが、アンケート数が少ないので、数を増やせる方法を検討、実施する。
【苦情・改善の要望】	→	

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		31
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	トレーラーハウスの利用者を募集し、年間を通してカフェを利用できるようになり、公園利用者の満足度向上に努めた。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	苦情などはなかった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	バラまつりのシーズン以外にも、昆虫展、妖怪展などを実施するなど、年間を通して季節に適したイベントを開催した。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		19
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	漏水用の上水道の使用量を調整する取組等を行い、支出経費を抑えることができた。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	5	税理士の指導を受け、適正に会計処理を行った。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	適正に管理され、瑕疵による破損・紛失等はない。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	園内施設について、点検・清掃・修繕等を確実にし、きれいな園内の維持を実施した。	36
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	4	AED研修や、バラの研修視察で埼玉県伊奈町のバラ園へ行き、バラの管理方法等を学び職員の資質を高めることができた。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	4	遅滞はなく、報告内容も日ごとの作業内容が記載され業務内容の把握がしやすいものであった。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	HPやSNS等、積極的に取り組んでいる。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	適切な管理・運営ができていて、市からの改善指導等がなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	5	落葉の頒布会や、木の実をクリスマスリースに使用するなどの取り組みを実施しており、利用者も増えている。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		15
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	4	基準以上の管理作業員を配置し、県内外からの観覧者が訪れる園内バラの水準を保っている。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	埼玉県伊奈町のバラ園へ視察研修に行き、バラの管理方法等を学び、また、市が開催した研修会へも参加して指定管理者制度への理解を深めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	4	職員の休みの確保に努め、時間外作業もあまりなくできている。	
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	31 (50)	バラまつりの運営や、昆虫展、妖怪展、ビアパークなど、公園利用者が楽しめるイベントを実施することができ、また、トレーラーハウスでは、通年営業するカフェと契約を結ぶことができ、公園利用者の満足度向上と、収入の増に繋がった。 アンケートについては、アンケートの回答数が少ないため、より多くの人に回答してもらうように積極的なアンケートの実施を期待する。
(2) 財務の視点	19 (25)	
(3) 業務の視点	36 (45)	
(4) 人材の視点	15 (20)	
年度評価	B+	
良 好		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	東側トイレ詰まり修理	4,400	0	突発的な詰まりが生じたため
	展示館男子トイレ洗浄便座修理	44,000	0	経年劣化による不具合が生じたため
	展示館給湯器修理	67,100	0	経年劣化による故障のため
	展示室照明修繕	27,500	0	経年劣化による故障のため
	展示館多目的トイレ洗浄便座修理	44,000	0	経年劣化による不具合が生じたため
	東側トイレ立水栓修理	81,840	0	経年劣化による不具合が生じたため
	東側多目的トイレ洗浄便座修理	82,500	0	故意による損壊被害のため
	合 計	351,340	0	
事業計画書に定める修繕費の額		300,000	指定管理料に含まれる修繕費	300,000
差 額		51,340	修繕費合計額	351,340
			差額(精算対象額)	51,340

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		0	指定管理料に含まれる備品購入費	0
差 額		0	備品購入費合計額	0
			差額(精算対象額)	0

修繕費・備品購入費 の 過不足についての考え	修繕費は30万円を予算計上し支出。迅速な修繕が必要にな案件を最優先に対応し、緊急性の低い修繕は 応急処置を施し、予算を鑑みて適切に支出していると考えます。
---------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	建設水道部 都市建設課	評価対象年度	令和7年度	
施設名称	北信濃ふるさとの森文化公園						
指定管理者	株式会社岩野商会			指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)		
根拠法令	都市公園法						
設置条例	中野市都市公園条例、中野市文化公園施設条例						
施設設置目的	地域住民の文化活動の充実と地域文化の向上を図るため。						
施設概要	サマーボブスレー及び遊具等、マレットゴルフ場、オートキャンプ場、多目的グラウンド、デイキャンプ場、ハーブ園ほか						
施設の主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和7年度実績(A)	令和6年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	全施設利用人数(人)			25,979	25,479	102.0%	
	全施設使用料金(円)			3,661,590	3,356,500	109.1%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	30,023,525	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	38,612,728	33,500,000	5,112,728	35,774,318	32,929,349	2,844,969
	自主事業	3,011,840	0	3,011,840	1,185,290	172,851	1,012,439
	合 計	41,624,568	33,500,000	8,124,568	36,959,608	33,102,200	3,857,408
職員の配置状況	施設長(支配人)1名、事務員2名、作業員1名 計4名 ローテーション						
所管課による 現地調査実施日	一回目	令和7年5月14日	二回目	令和7年10月9日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
収入については、昆虫館廃止や、マレットゴルフ場の無料化による減少もあったが、利用者ニーズに応じた自主事業の実施、HPを利用した施設のPR等により収入の増につなげたい。	→	信州中野アーチェリーセンターの合宿での利用や、サマーボスレーの優待券の発行等により、利用者が増加し収入増につながった。
利用料金の改定を季節に合わせて実施する等の工夫をして、収入増につなげたい。	→	オートキャンプ場の価格を上げたため、利用者は減少したが収入の増につながった。
業務報告については、適切に取りまとめ期日までに報告するようにしたい。 問合せ等の電話に出ないなどの苦情があり、対応も遅かった。	→	毎月の業務報告については、期日を過ぎることがあり改善ができていない。 転送電話サービスを導入したが、電話に出ない時もあるため、対応を徹底する。
市から改善指示があった看板の対応については、対応が遅く市で看板の名前変更を実施した。現場での対応は迅速に実施したい。	→	市より改善指示があった事項については、情報共有や連絡を密にし速やかに対応することを徹底し、市より指示のあった園内の修繕や木の伐採等については、現場での対応は迅速にできていた。

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 公園内の清掃	→	トイレ清掃はしっかり行い美観を保てた。
【苦情・改善の要望】 ・公園やアーチェリーセンターの問合せに対して、連絡がつかないことがある。 ・アーチェリーセンターで合宿が多い時に一般客が使用できない。 ホームページに指定管理とは関係ない企業が入っていたり、予約状況がわかりづらい。	→	・転送電話サービスを導入しているが、電話に出ない時もあるため対応を徹底する。 ・合宿で使用しているときも、一般の人が使える日や時間帯を設ける。 ホームページの修正は行われたが、文化公園ホームページからアーチェリーセンターホームページに行くことができなかったり、予約状況の更新がとまっているため、さらなる改善を実施したい。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者は前年に比べて増加したか	5		22
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	アンケートにあったトイレの清掃を重点的に実施した。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	2	電話対応についてや、アーチェリーセンターの利用について苦情があったが、対応が遅くなったり、不十分なことが多くあった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	1	計画に対して収入が56%であった。	17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	オートキャンプ場の料金改定や、アーリーチェックインを導入し収入を増加できた。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	木の伐採を自営で実施したり、除雪用ホイールローダーを借りて人件費削減に繋げた。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	適切に管理されている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	期間を設けて備品台帳との現地照合を行うなど、適正な管理に努めた。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		27
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	2	業務報告が遅れることが多い。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	3		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	1	改善指示に対して対応が遅い。アーチェリーセンターの運営やホームページの修正が不十分である。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故はなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	4	プライバシーポリシー等を整えている。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	伐採した木を薪としたり、落葉を使いやきいも大会を開催する等サービス向上に努めている。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1)-③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	電話対応や、アーチェリーセンターの運営、ホームページの修正についての苦情に対し、対応が遅くなることが多いため、早急に対応できるように運営をするようにしたい。
(2)-① 計画どおり収入が得られたか	収入については、前年より増加しているが計画の金額が多く、前年の収入等により計画金額を設定するようにしたい。
(3)-③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	毎月の業務報告が遅れることがあるため、各施設の利用者数等を適切に取りまとめ期日までに報告するようにしたい。
(3)-⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	危険木の伐採等是对应を早くできているが、電話対応やアーチェリーセンターの運営、ホームページの修正等について改善指導しているにもかかわらず、遅い場合や不十分な場合があるため、改善を徹底するようにしたい。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	22 (50)	園内の危険木の伐採等管理が適切に行われていた。 信州中野アーチェリーセンターの利用も毎日利用者があり、夏や春には合宿で多くの利用者を呼べている。今後は合宿等で訪れた人に提供できるサービスが充実していくことを期待する。また、電話対応やアーチェリーセンターの運営やホームページの苦情に対して、市から改善の指導をしているにも関わらず、対応が遅かったり、不十分なことがあるため、苦情や改善指導に対して、早急に対応できるようにしたい。
(2) 財務の視点	17 (25)	
(3) 業務の視点	27 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B-	
要改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に修繕した理由を記入
	丸太階段修理	232,100		丸太階段が腐り危険なため擬木に取替修繕
	管理事務所内の仕切り撤去、壁面、床面の貼替え	301,931		合宿で利用者休憩室として使い勝手が悪い ため、またクロスの傷みが目立つため
	ラインテープ張替え修繕	174,240		アーチェリーセンターのラインテープ劣化で切れてしまったため張替修繕
	草刈機、農機具、作業用機器、車両の修理	121,239		不具合、動作不良で作業が出来ないため
	電気設備修理・水栓等の修理	463,430		漏電による不具合、漏水による配管破損が生じたため
	アーチェリー場フェンスパネル貼り	184,800		矢の飛び出し予防のため
	その他修理	86,553		バッテリーカー部品劣化等による
	合 計	1,564,293	0	
事業計画書に定める修繕費の額		1,300,000	指定管理料に包含される修繕費	1,300,000
差 額		264,293	修繕費合計額	1,564,293
			差額(精算対象額)	264,293

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	ルームエアコン	247,170		管理事務所の室内が高温になり熱中症予防のために購入
	合 計	247,170	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		600,000	指定管理料に包含される備品購入費	0
差 額		△ 352,830	備品購入費合計額	247,170
			差額(精算対象額)	247,170

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	修繕費については、施設全体の劣化が著しく、今後も不足することが予想されるため、事前の保全を行い、施設の長寿寿命化に努める。
----------------------	---